

H3C U-Center 2.0
Upower サービスベンダープラットフォーム
ユーザーマニュアル

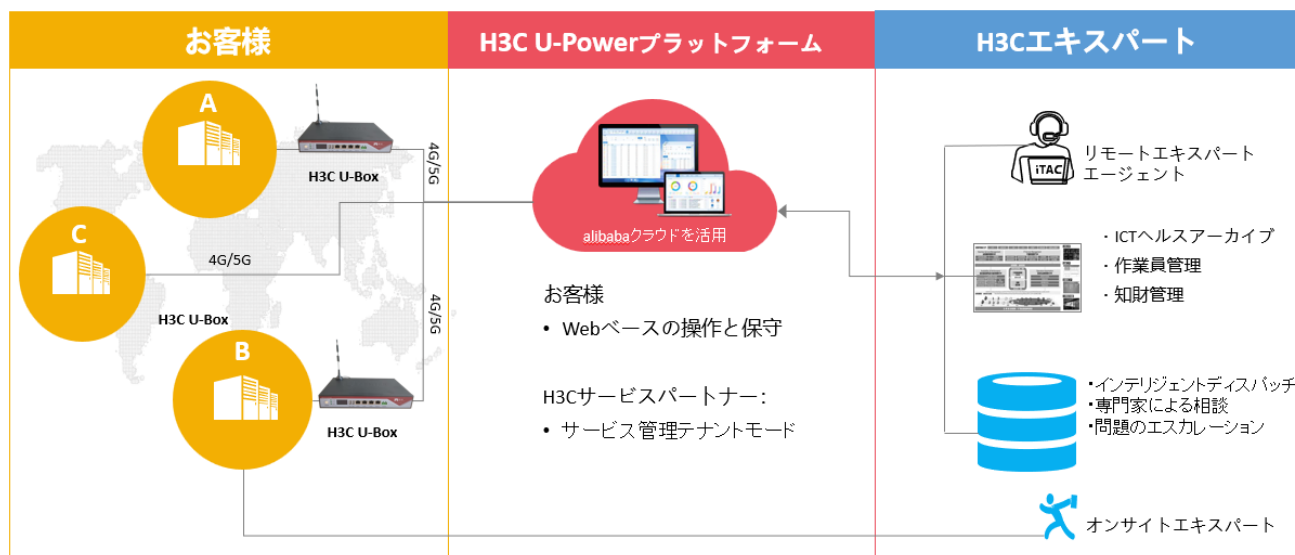
目次

序章 U-Center 2.0 Upowerプラットフォーム紹介	4
U-Center 2.0 Upower サービス ベンダー プラットフォームの概要	5
Upower サービス ベンダー プラットフォームへのアクセス	5
Upower プラットフォームの管理インターフェイス	5
U-Box	7
U-box デバイスの紹介	7
ラックマウントU-box	7
U-box と他のデバイスの接続	8
U-box管理	8
1. U-box 管理インターフェイス	9
2. U-box 管理操作	9
3. U-box管理 - デバイスの詳細	10
4. U-box概要	11
5. LAN 設定	12
6. リモート デバイス	13
7. トンネル録音	16
8. FTP	17
9. ネットワーク診断	18
10. ネットワークデータの packets キャプチャー	19
11. ネットワーキング 構成	20
12. システムログ	20
顧客管理	21
承認 リスト	21
顧客プロフィール	22
顧客管理	23
顧客アカウントの追加	24
作業指示管理	25
受信順	25
送信済み作業指示	25
私の作業指示	27
複数人コンサルテーション	28
許可管理	29

ユーザー リスト.....	29
ユーザー リスト.....	29
役割リスト.....	33
初期デフォルトパスワードの変更.....	35
構成管理.....	35
配送スケジュール.....	35
指定された割り当て.....	35
シフト割り当て.....	36
作業指示タイムアウト.....	37
作業指示タイムアウトの設定.....	37
プッシュメッセージの構成.....	38
通知.....	39

序章 U-Center 2.0 Upowerプラットフォーム紹介

「H3C・U-Center Upower」は、フロントエンドのUpowerリモートアクセスモジュール(U-box)とバックエンドのUpowerクラウドプラットフォームで構成されます。ユーパワーは、4G-IoT技術に基づきリモートO&Mサービスアーキテクチャと専門家によるサポートシステムにより、ICT製品のワンストップO&Mサービスを提供し、顧客のビジネス革新とデジタルトランスフォーメーションをサポートします。Upowerは、パートナーにSaaSサービスバックエンドを提供して、新しいタイプのO&Mエコシステムの構築を支援することもできます。U-boxデバイスを介して直接メンテナンス操作を実行することに加えて、システムバックグラウンドは、トラブルシューティングプロセスをリアルタイムで効果的に記録し、(画面共有を介して)動的に表示することもできます。難しい問題が発生した場合には、システムが提供する複数の専門家による相談機能を通じて、オンラインで複数の専門家によるサポートを受けることができます。



このマニュアルでは、U-Center 2.0 Upower サービス ベンダー プラットフォームの各モジュールの主な機能の使用方法について詳しく説明します。

U-Center 2.0 Upower サービス ベンダー プラットフォームの概要

U-Center 2.0 の Upower サービス ベンダー プラットフォームは、シンプルで洗練された使いやすい Web サービス インターフェイスをユーザーに提供します。Web ブラウザ経由で U-Center 2.0 Upower サービス ベンダー プラットフォームにアクセスし、その管理インターフェイスを通じて U-box デバイスを設定/監視できます。この章では、U-Center 2.0 Upower サービス ベンダー プラットフォームの使用方法について簡単に説明します。

Upower サービス ベンダー プラットフォームへのアクセス

Upower サービス ベンダー プラットフォームは、B/S 構造に基づいて開発されています。クライアントをインストールする必要はなく、ブラウザに URL を入力するだけでプラットフォームに直接アクセスできます。Upower サービス ベンダー プラットフォームでサポートされる Web ブラウザを表 2-1 に示します。

表 2-1 推奨Webブラウザ

ブラウザ	バージョン
Chrome	Chrome 101とそれ以降
Microsoft Edge	Microsoft Edge 103 とそれ以降

U-Center 2.0 Upower サービス ベンダー プラットフォームにアクセスするための URL: <http://ucenterydagent.h3c.com>。

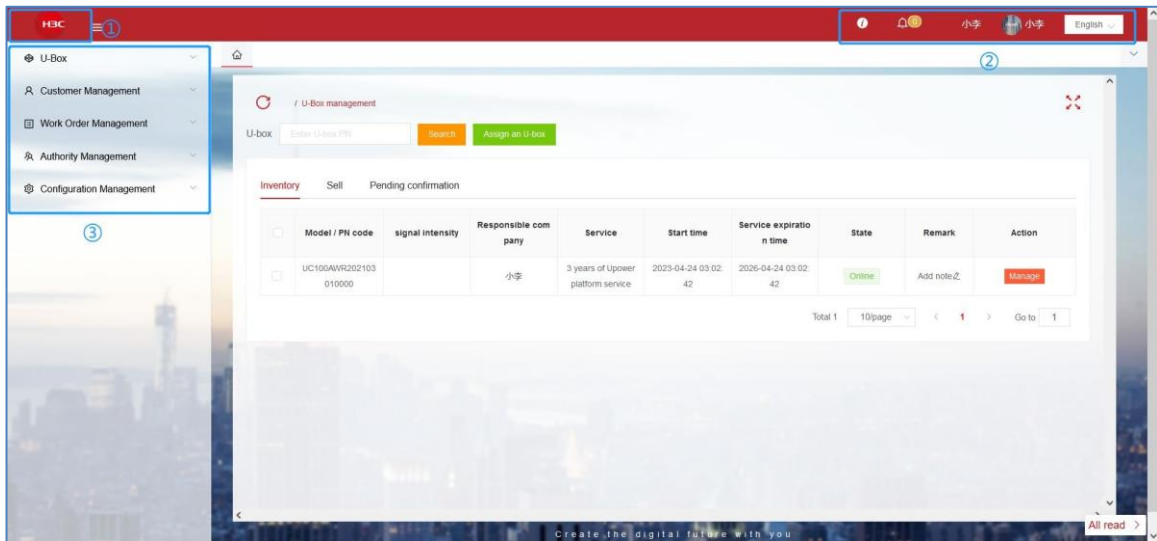


- 初回ログインには、登録済みのユーザー名（登録に使用した携帯電話番号）とデフォルトのパスワード（ydl@1234）が必要です。初めてログインした後は、期限内に初期パスワードを変更してください。
- 通常、システムはアカウント登録が成功すると SMS 通知を送信します。受信できない場合は、管理アプリによってブロックされていないか確認してください。

Upower プラットフォームの管理インターフェイス

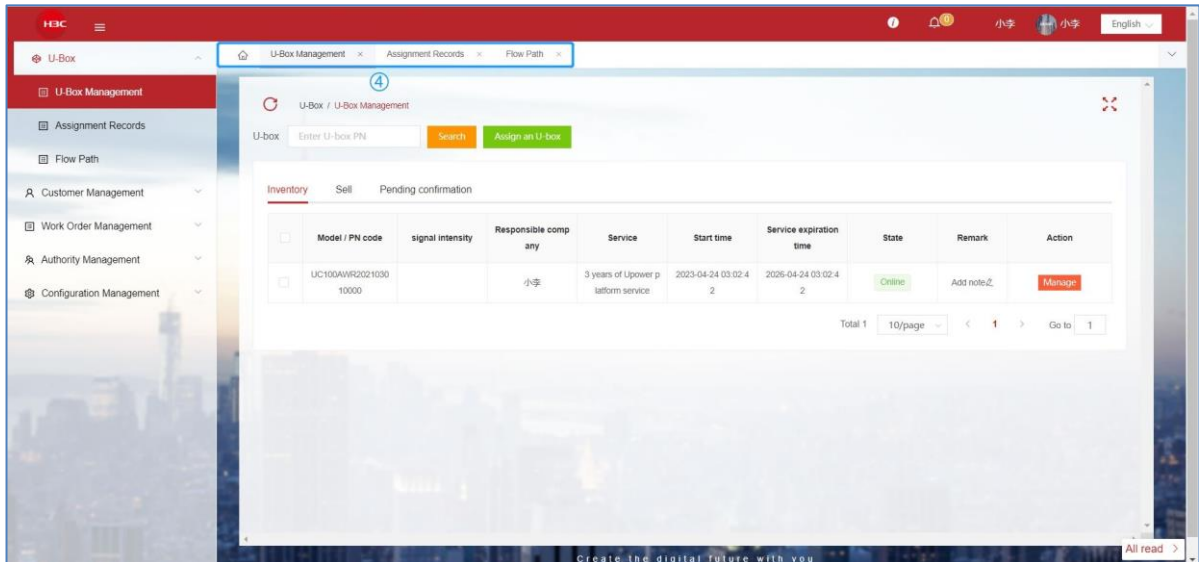
Upower サービス ベンダー プラットフォームにログインした後、そのホームページにアクセスできます。デフォルトでは、図 2-1 に示すように、選択したサービス ベンダーに対して送信された作業指示書のリストが、左側のナビゲーションメニューと通知管理とともに表示されます。上部に個人情報モジュールがあります。

図 2-1 Upower サービス ベンダー プラットフォームのホームページ



左側のナビゲーションメニューで対応するタブをクリックすると、Upower 機能の操作インターフェイスに入ることができます。たとえば、[U-box] タブをクリックすると、図 2-2 に示す U-box 管理ページに入ることができます。

図 2-2 のUpowerサービスベンダープラットフォームの操作インターフェイス



インターフェイスの左上隅にある〈ロゴ〉アイコンをクリックして、Upower サービス ベンダー プラットフォームのホームページに戻ります。このホームページには、次の 4 つのセクション（上から下、左から右）が含まれています。

テーブル 2-1 ホームページ セクション

SN	名前	説明
(1)	ロゴ	Upower サービス ベンダー プラットフォームのすべての機能構成にアクセスするためのポータルを管理者が使用すると、機能構成ページをすばやく見つけることができます。
(2)	情報管理	さまざまな種類の情報を簡単に閲覧できるように、通知および企業/個人情報管理モジュールが含まれています。
(3)	メニュー	さまざまな管理機能を設定するためのポータル。管理者が実際のニーズに応じて機能を切り替えるのに便利です。
(4)	タブ	すべてのプラットフォーム機能を設定するためのポータル。左側のメニュー バーの各項目には独自のタブがあり、異なるタブ間を簡単に切り替えることができます。

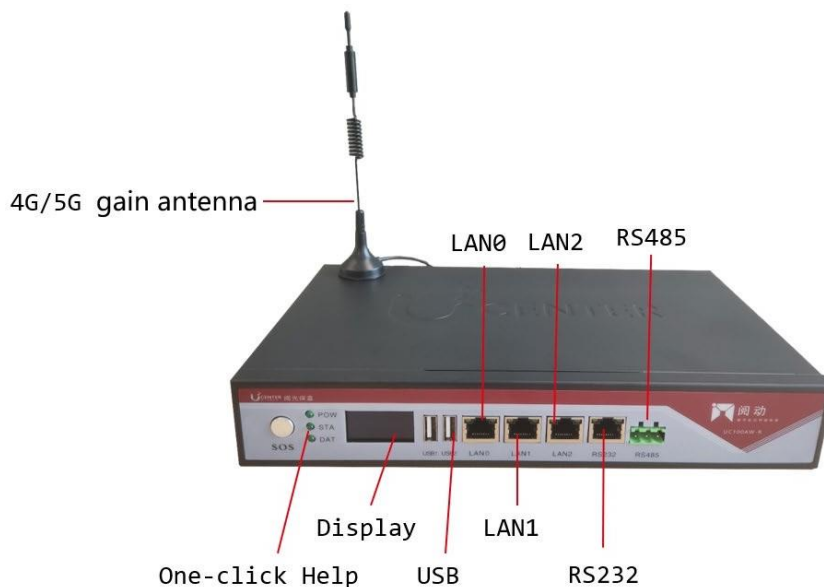
U-Box

U-box (リモート O&M フロントエンド) デバイスは、Upower のリモート O&M サービスの中核要素であり、U-box モジュールは Upower サービス ベンダー プラットフォームの主要コンポーネントでもあります。すべての U-box デバイスを 1 つのアカウントで管理し、これらのデバイスを管理および設定し、ステータスやサービス期間などを簡単に確認するために使用できます。

この章では、U-box モジュールのすべての機能の使用方法について詳しく説明します。

U-box デバイスの紹介

ラックマウントU-box



U-box と他のデバイスの接続



U-box の RS232 ポートは、ストレート ケーブルを介して障害のあるデバイスのコンソールポートに接続されています。



U-Box の LAN ポートは、ネットワーク ケーブルを介して障害のあるデバイスの LAN ポートに接続します。(宛先 IP アドレスとパスワードを知っている必要があります)。

U-box管理

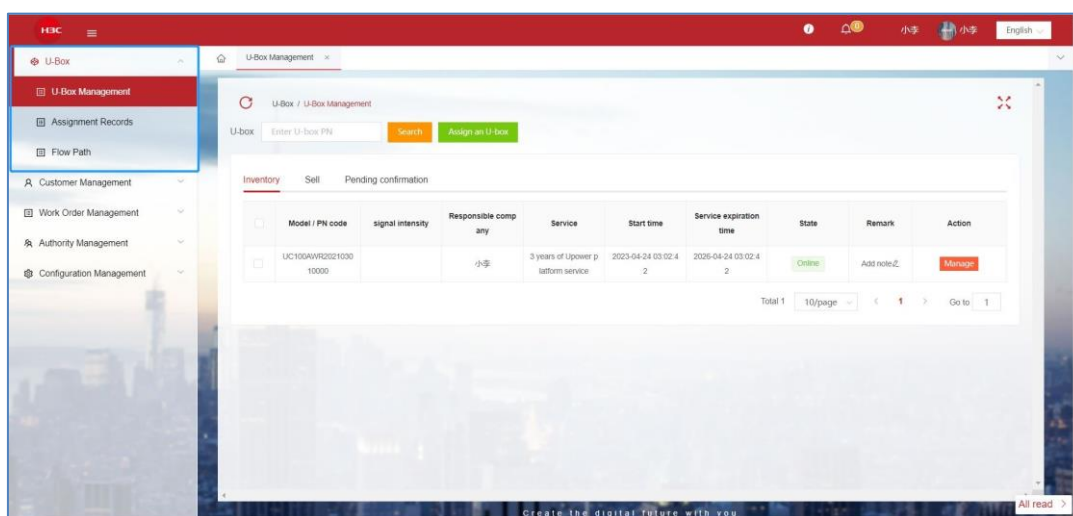
U-box 管理機能は、選択したサービス ベンダー アカウントで U-box デバイス (配布流通を含む) を管理し、リモート O&M 操作を実行するために使用されます。リモート O&M プロセス中、Upower サービス ベンダー プラットフォームは操作を自動的に記録し、その後の検査とバックトラッキングのためにビデオ録画を保存します。

1. U-box 管理インターフェイス

U-box 管理は、在庫および販売されている U-box デバイスに適用できます。特定のニーズに応じて U-box デバイスを選択および管理できます。このセクションでは、U-Center 2.0 Upower プラットフォームの U-box 管理機能の使用方法を簡単に紹介します。

Upower サービス ベンダー プラットフォームにログインした後、図 3-1 に示すように、左側のナビゲーション メニューから [U-box Management] インターフェイスに入ることができます。

図 3-1 U-box管理インターフェイス



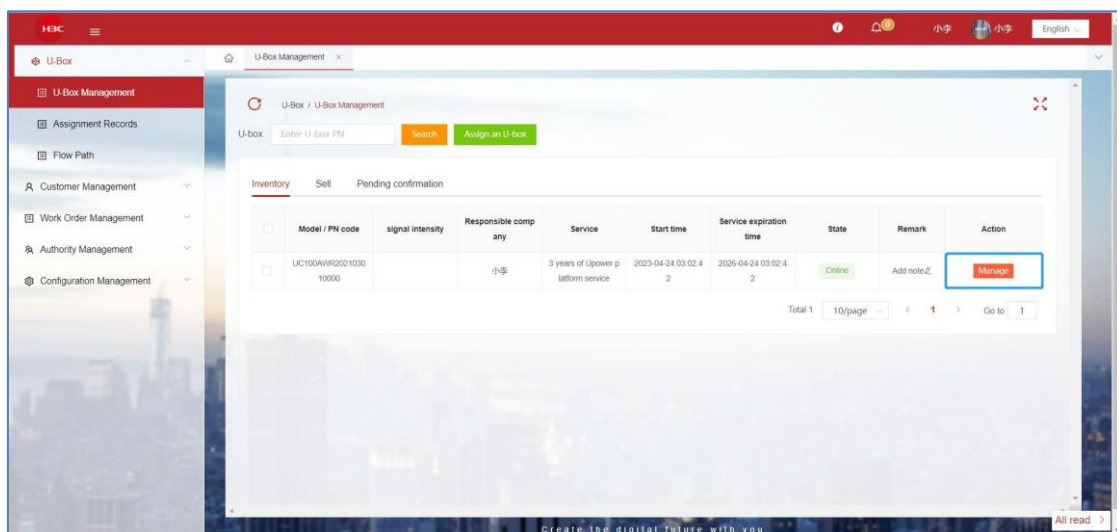
2. U-box 管理操作

在庫リストまたは販売リストを通じて、U-box デバイスの関連情報（モデル、信号強度、所有会社、サービスの種類、サービス期間、ステータスなど）を表示できます。必要に応じて、これを使用して特定の U-box デバイスを検索し、そのデバイスの詳細インターフェイスを入力することもできます。

に 実行 Uボックス 管理 オペレーション:

- (1) 管理インターフェイスでオンラインデバイスを直接見つけて、インターフェイスの右下にある<管理>ボタンをクリックします。
- (2) 図 3-2 に示すように、SN コードを検索してオンライン デバイスを見つけ、インターフェイスの右下にある<管理>ボタンをクリックします。
 - 検索バーにデバイスのSNコードを入力します
 - 検索を実行してデバイスを選択します
 - <管理>をクリックして、デバイスの詳細インターフェイスに移動します

図 3-2 U-box 管理 インターフェイス



3. U-box管理 – デバイスの詳細

このインターフェイスは、オンライン U-box デバイスを管理するために使用されます。この管理モジュールを通じて、選択した U-box デバイスの詳細を確認し、スタティック ルーター、LAN などの関連する設定操作を実行できます。ポート 設定、リモートトンネル、FTP 移行 の 保管所 ファイル、ネットワーク診断、ネットワークパケット キャプチャ、ネットワーク構成、システム ログ (図 3-3 を参照)。

図 3-3 U-box 管理デバイスの詳細インターフェイス

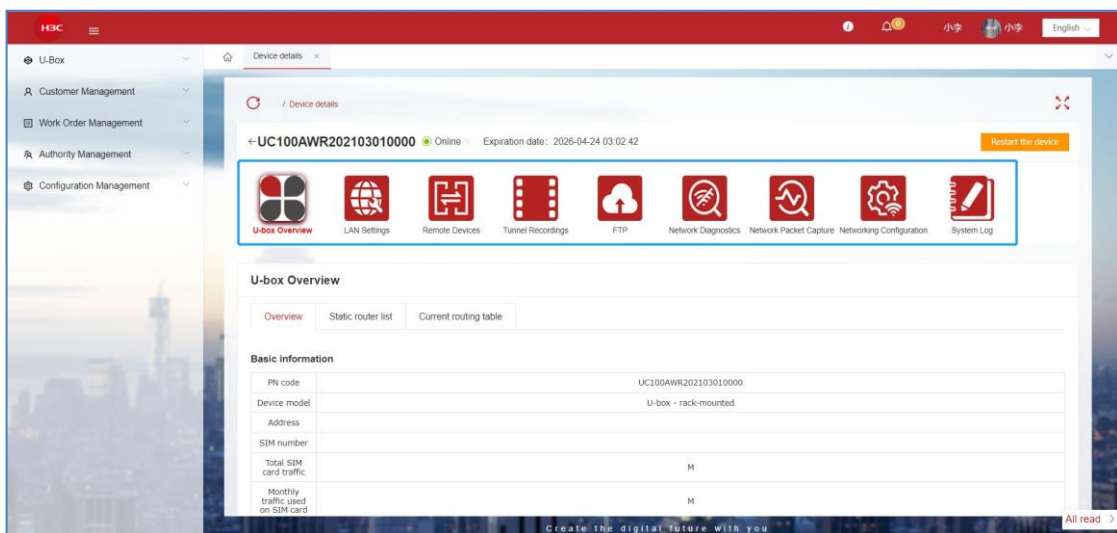


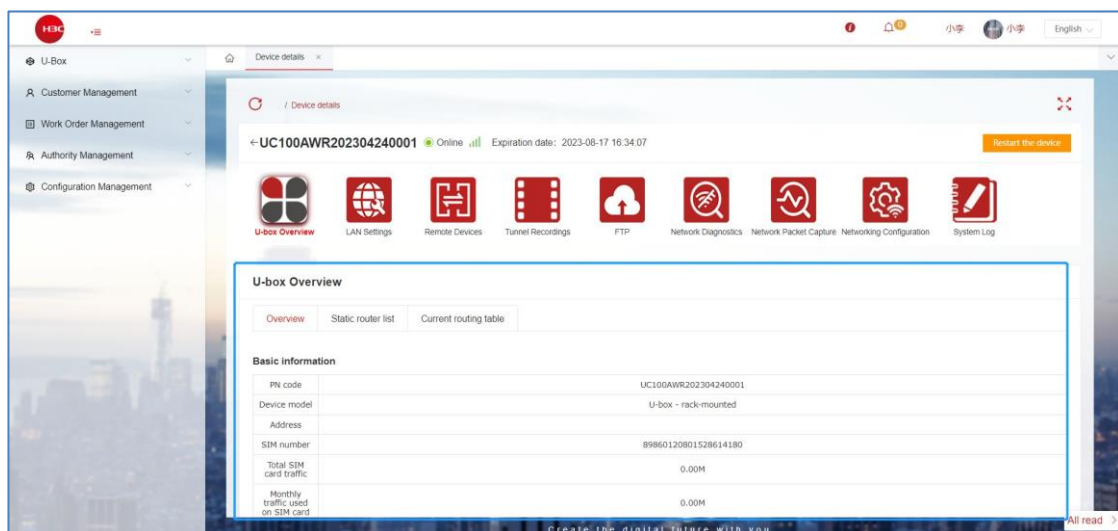
表 3-1 U-boxの管理

SN	アイテム	説明
1	U-boxの概要	U-box の全体的な動作を確認し、静的ルーターのリストを表示/設定するために使用されます。
2	LAN 設定	使用済みに 構成、設定 の LAN ポート IP の Uボックス (自動的 得られた または手動で入力します)。
3	リモート デバイス	ターゲット デバイスにログインするためのリモート O&M トンネルを作成するために使用されます (SSH、TELNET、HTTP/HTTPS、RDP、VNC、RS232、および暗号化された送信がサポートされています)。
4	トンネル録音	その後の検査と後戻りを容易にするために、トンネル内の試運転プロセス全体がビデオに記録され、保存されます。
5	FTP	U-box は FTP サーバー機能をサポートしているため、ファイル転送とバックアップのためのローカルデバイスとターゲットデバイス間のファイル転送ステーションとして使用できます。
6	ネットワーク診断	ネットワークの到達可能性を確認するために、基本的なネットワーク診断が提供されます。
7	ネットワークデータキャプチャ	tcpdump を使用してネットワーク データのパケットをキャプチャする
8	ネットワーク構成	4G (デフォルト) や WIFI 経由など、U-box をネットワークに接続する方法を構成します。
9	システム ログ	ユーザーのU-box上での操作を記録します。

4. U-box概要

U-box の概要ページには、図 3-4 に示すように、基本的なデバイス情報、システム、メモリ、NIC、およびルーティング テーブルが表示されます。

図 3-4 U-boxインターフェイス概要



U-box 静的ルーティング テーブルの項目を追加または削除する

ルーターの追加: 運用管理画面に移動し、[U-box管理/スタティックルーター]、<追加>の順にクリックし、スタティックルーターを追加します。

ルーターの削除: 運用管理画面に移動し、[U-box管理/スタティックルーター]、<削除>の順にク

リックし、スタティックルーターを削除します。



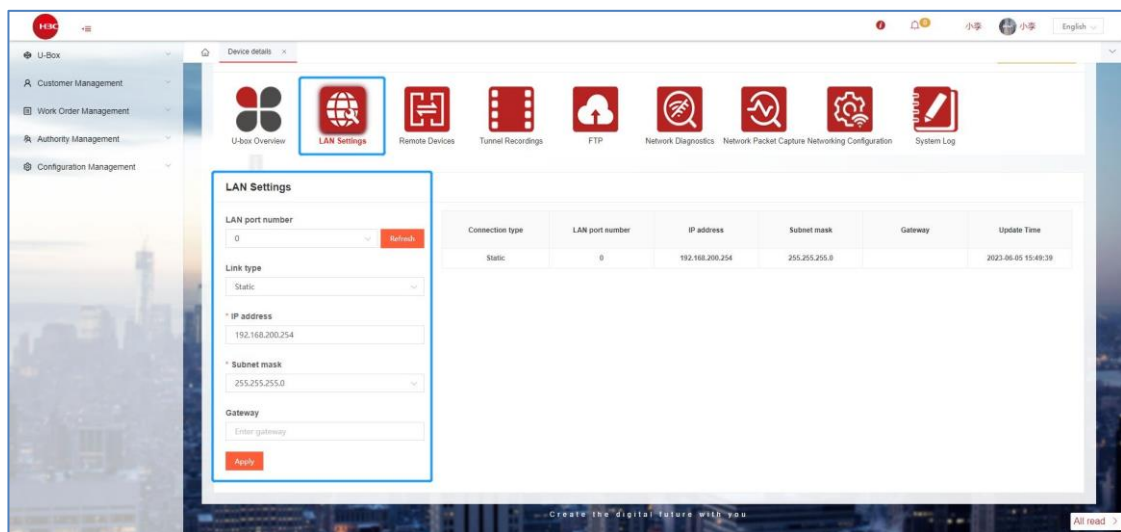
Note

- ルーターの追加または削除後は、速やかにルーティングテーブルを更新してください。
- 追加されたルートは一時的なものです。ケーブルの抜き差しまたはデバイスの再起動後にルーターが表示されなくなった場合は、「適用」をクリックして静的ルーターを再配布します。

5. LAN 設定

図 3-5 に示すように、U-box デバイスの LAN ポートの IP アドレスを構成します。

図 3-5 U-box デバイスの LAN ポートの IP アドレスを構成する



(1) U-box デバイスの LAN ポート IP アドレスを設定するには:

- [LAN設定]をクリックすると該当ページに移動します
- LAN ポートを選択します (0、1、2、デフォルトは LAN 0)
- リンクの種類を選択します (実際の状況に応じて静的リンクまたは動的リンクを選択します)
- IPアドレス: 実際の状況に応じてカスタマイズ可能
- サブネットマスク: 実際の状況に応じてカスタマイズ可能
- ゲートウェイ: U-box に接続するターゲット デバイスの LAN ポート IP アドレス。実際の状況に応じて変更できます
- <適用>をクリックして操作を完了します

(2) 右側のリストをクリックすると、設定されているLANポートの情報が表示されます。。



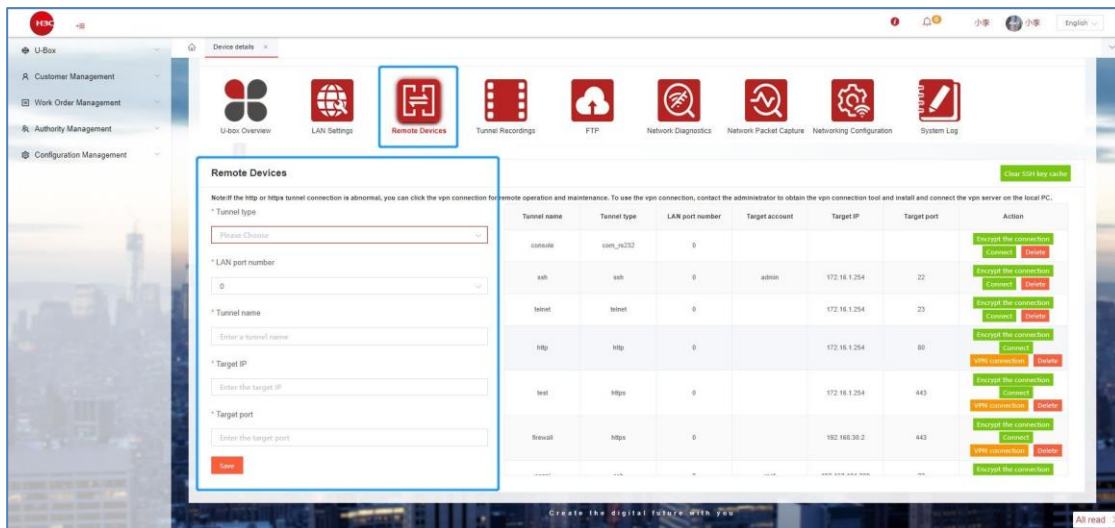
注意

- LAN ポートの設定を変更すると NIC が再起動され、ページ情報の表示が遅れるため、操作後 3 ~ 10 秒待ってからページを更新してください。
- DHCP モードにはデータの同期が含まれるため、操作後 30 秒から 90 秒待ってからページを更新してください。

6. リモート デバイス

リモート デバイスのログインと O&M 操作用のトンネルを作成します。ネットワーク障害が発生した場合、図 3-6 に示すように、U-box を通じて緊急チャネルを確立して、専門的で便利な緊急修理サービスを利用することもできます。

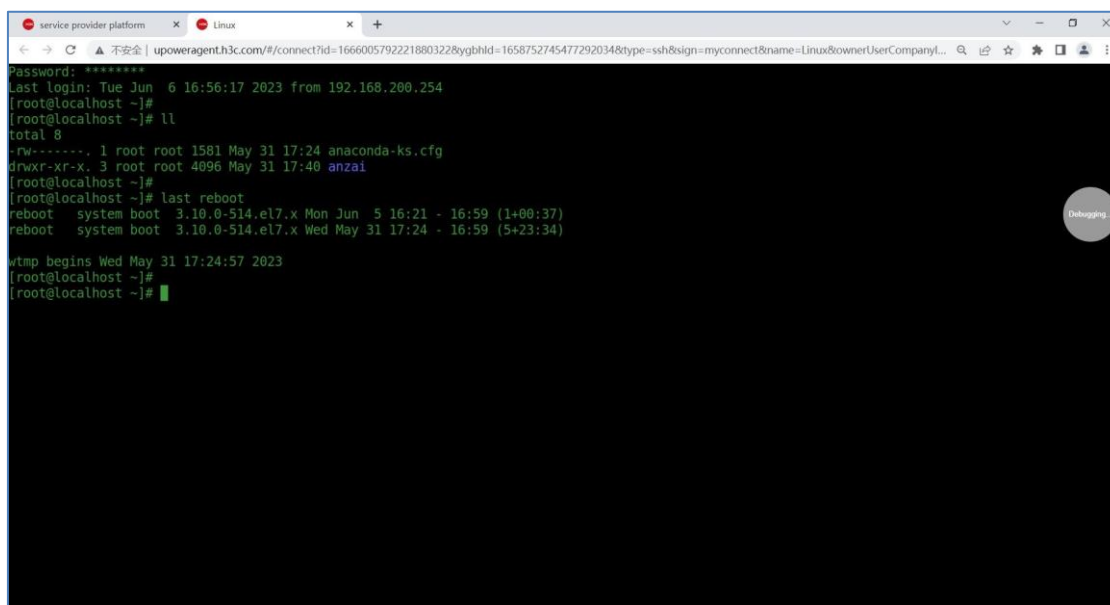
図 3-6 U-box リモートデバイス構成インターフェイス



トンネルを作成する手順は次のとおりです (SSH トンネルの作成を例にします):

- [リモートデバイス]を選択して、トンネルの設定と操作のページに移動します
- トンネルタイプ、LANポート番号を選択し、トンネル名、ターゲットIP、ターゲットポート、ターゲットアカウントを入力します
- <保存>をクリックして、右側のリストにリモートトンネルリンクを生成します
- ターゲットデバイスにリモートでログインしてO&M操作を実行するには、図3-7に示すように、<接続>をクリックしてターゲットデバイスのアカウント番号とパスワードを入力します

図 3-7 U-box リモート ログイン管理インターフェイス



Note

異なるプロトコルのトンネルには異なる情報が必要です。

SSH および RDP トンネルはファイル管理モジュールによってサポートされています。つまり、トンネル接続インターフェイス (クリックすると、ローカル PC からターゲット デバイスにファイルを直接転送できます) トンネルインターフェイスの右側にある<接続>をクリックし、[ファイル管理]を選択します。

図 3-8 SSHトンネルファイル管理モジュール_01

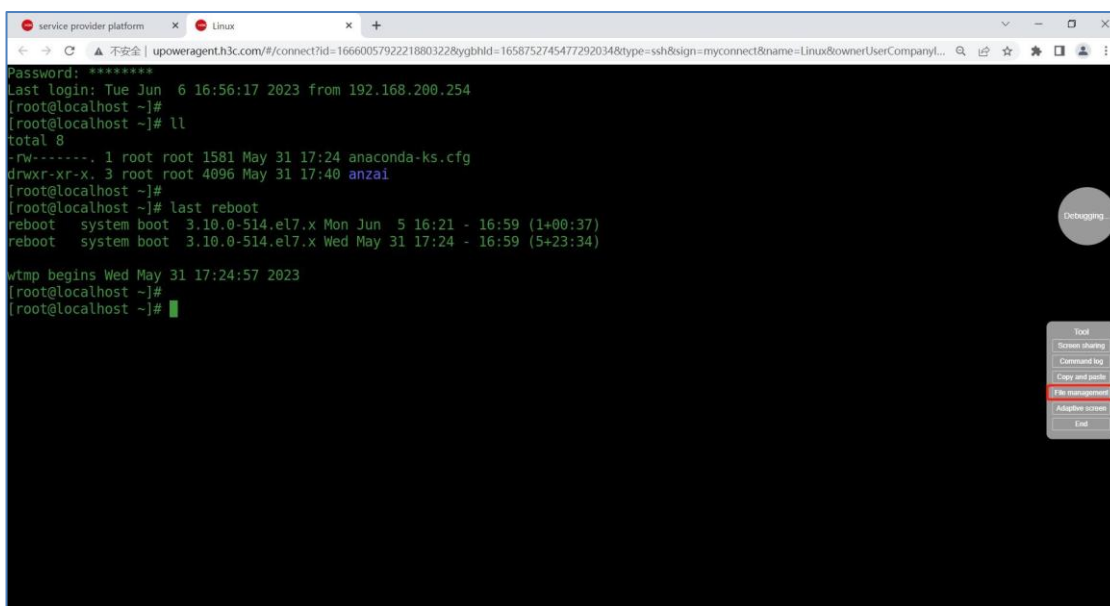


图 3-9 SSSHトンネルファイル管理モジュール_02

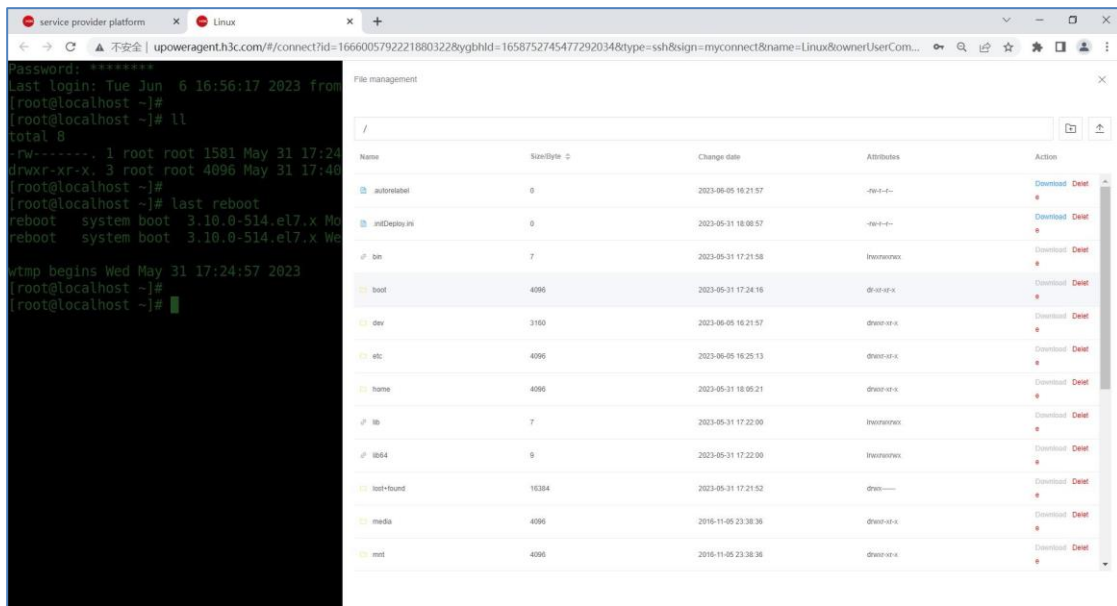


图 3-10 RDPトンネルファイル管理モジュール_01

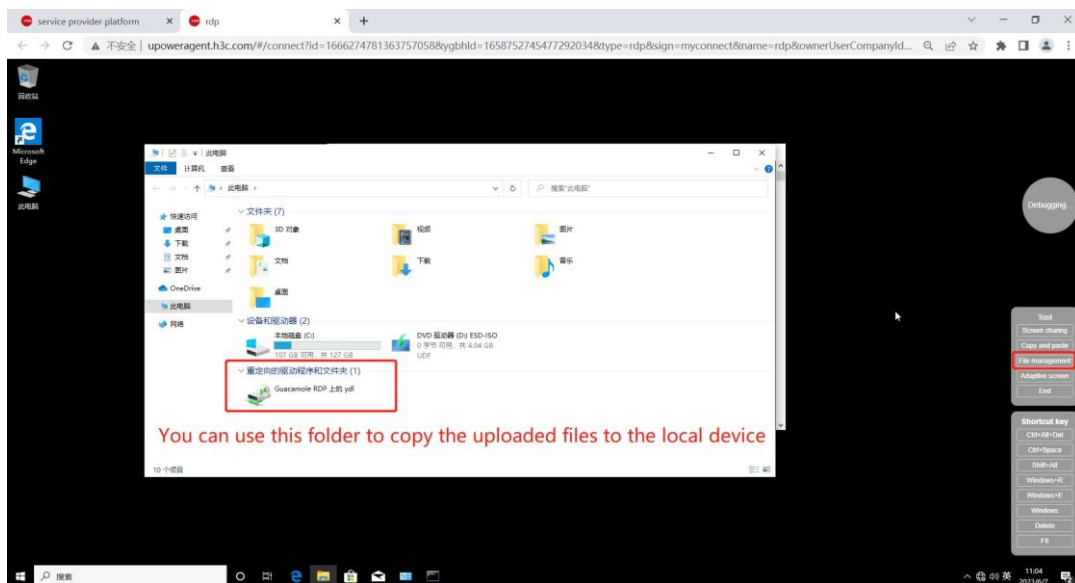
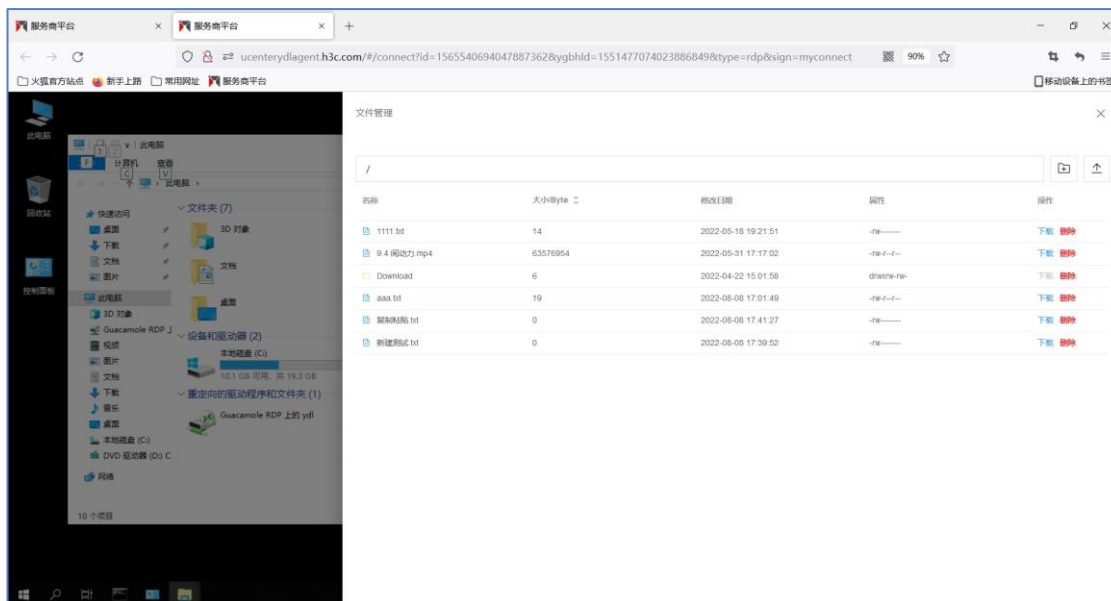


図 3-11 RDPトンネルファイル管理モジュール_02



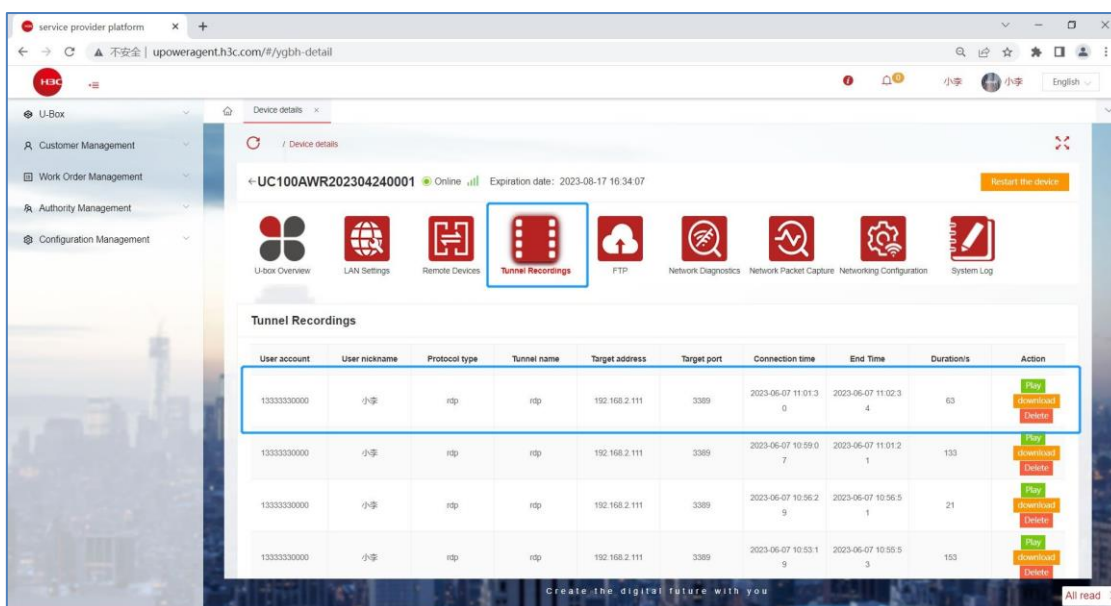
 Note

- SSHトンネルファイル管理モジュールを使用するには、ターゲットデバイスがSFTPサーバーをサポートし、有効にする必要があります。
- ファイルのアップロードはブラウザのバックグラウンドで自動的に行われます。現在のファイル管理モジュールはファイル転送の進行状況を表示できませんが、これは将来のアップデートでサポートされる予定です。

7. トンネル録音

その後の検査と後戻りを容易にするために、図 3-12 に示すように、トンネル内の試験プロセス全体がビデオに記録され、保存されます。

図 3-12 U-box トンネル記録インターフェイス



(1) 各録画で記録されるリモートデバイス情報

- ユーザーアカウントとニックネーム
- プロトコルの種類: アクセスされているトンネルの種類
- トンネル名: 作成されたトンネルの名前
- ターゲット アドレス: U-box が接続されているターゲット デバイスのアドレス
- ターゲットポート: ターゲットデバイスのポート
- 接続時刻: リモート接続を開始した時刻
- 終了時刻: リモート接続が終了した時刻
- 期間: リモート操作の期間

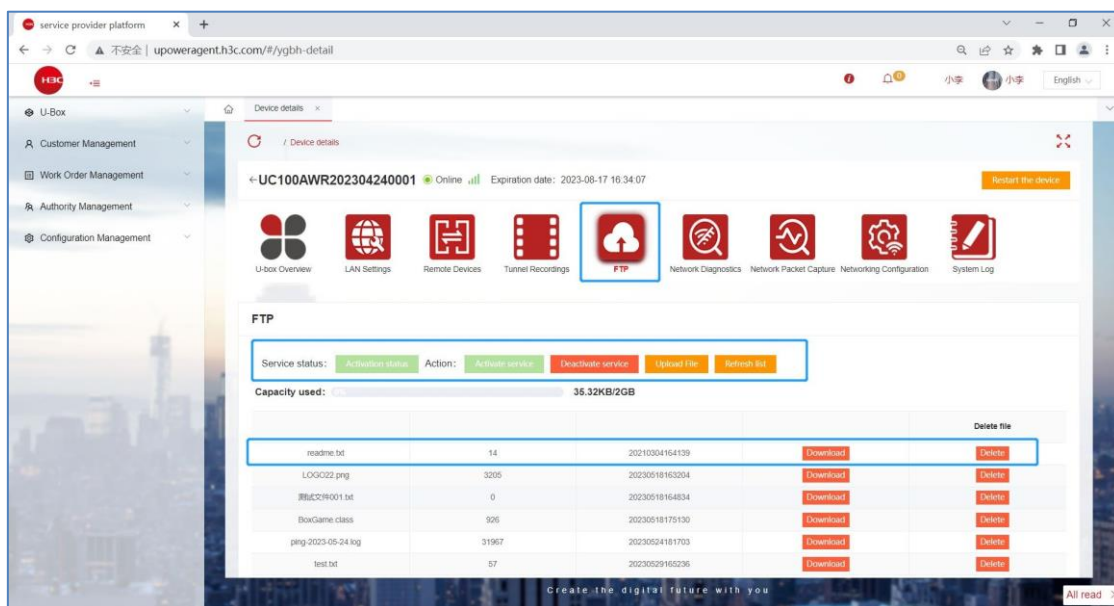
(2) 利用可能な録音操作:

- 再生: 録画をオンラインで再生します
- ダウンロード: 録画をダウンロードしてオフラインで再生します
- 削除: 指定した録音を削除します

8. FTP

U-box は FTP サーバー機能をサポートしているため、図 3-13 に示すように、ローカル デバイスとターゲット デバイス間のファイル転送およびバックアップ用のファイル転送ステーションとして使用できます。

図 3-13 U-box FTP インターフェイス



(1) ファイルをアップロードするには

- <Upload file>をクリックします
- アップロードするファイルを選択してください
- OKをクリックしてアップロードします
- アップロードが完了したら、<Refresh list>をクリックして、アップロードされたファイルを表示します

(2) ファイルをダウンロードするには

- ダウンロードするファイルを選択し、<Download>をクリックします。
- ローカルの保存パスを選択します
- 操作が完了すると、ダウンロードパスにダウンロードされたファイルが表示されます。

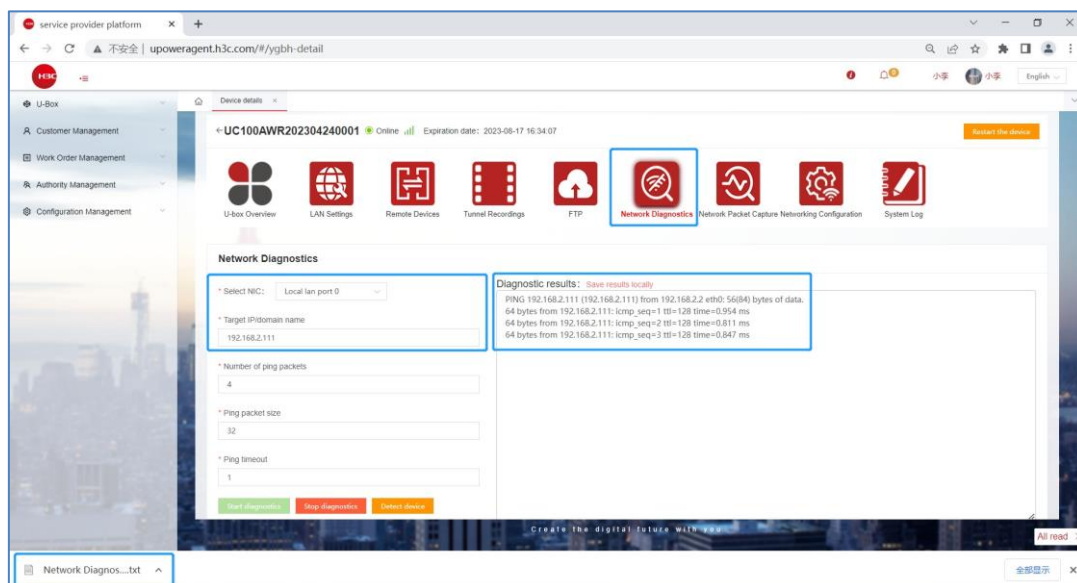
(3) 削除したいファイルを選択します

- 削除するファイルを選択してください
- <Delete>をクリックします
- ポップアップメニューでOKをクリックします。
- 削除が完了

9. ネットワーク診断

図3-14に示すように、ネットワークの到達可能性の確認を支援するために、基本的なネットワーク診断が提供されています。

図 3-14 Uボックスネットワーク診断 インターフェイス



基本的なネットワーク診断のために、ping、thasster、dig 機能が提供されています。ping 機能を使用するには:

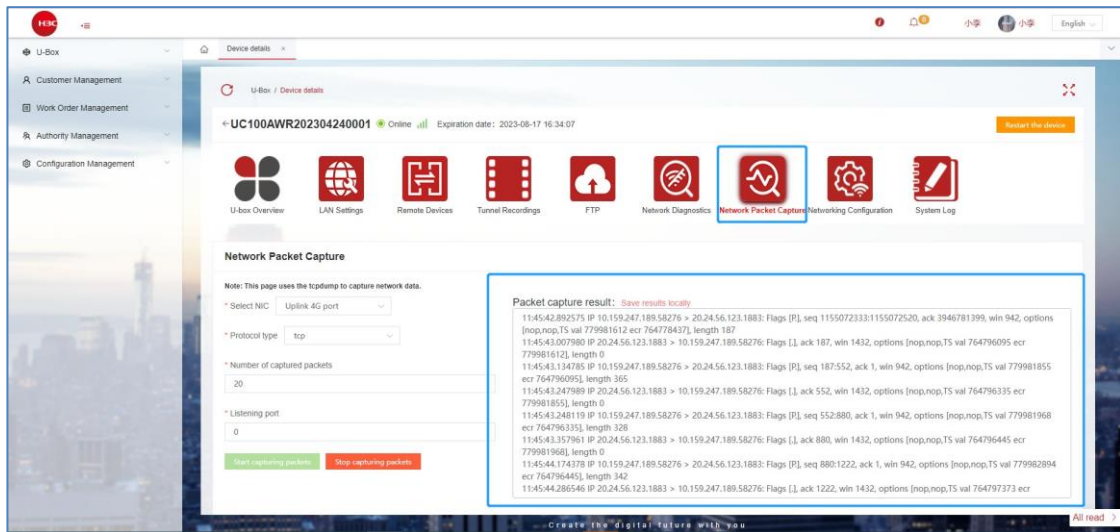
- <ping>をクリックします
- ネットワークカードの選択: デフォルトでは LAN 0 カードが選択されています。LAN 0、1、2 ネットワークカード、Wi-Fi カード、アップリンク 4G ポートを備えたカードを実際の状況に応じて選択可能
- 宛先 IP/ドメイン名: 実際の状況に応じて入力します。
- ping パケットの数: デフォルト値は 4 ですが、実際の状況に応じて変更できます。
- Ping パケット サイズ: デフォルト値は 32 ですが、実際の状況に応じて変更できます。
- Ping タイムアウト: デフォルト値は 1 ですが、実際の状況に応じて変更できます。

<診断の開始> をクリックすると、右側に結果が表示されます。診断結果をローカルに保存するかどうかを選択できます。

10. ネットワークデータの パケットキャプチャー

図 3-15 に示すように、tcpdump を使用してネットワークデータの packets をキャプチャすると、結果をローカルに保存できます。

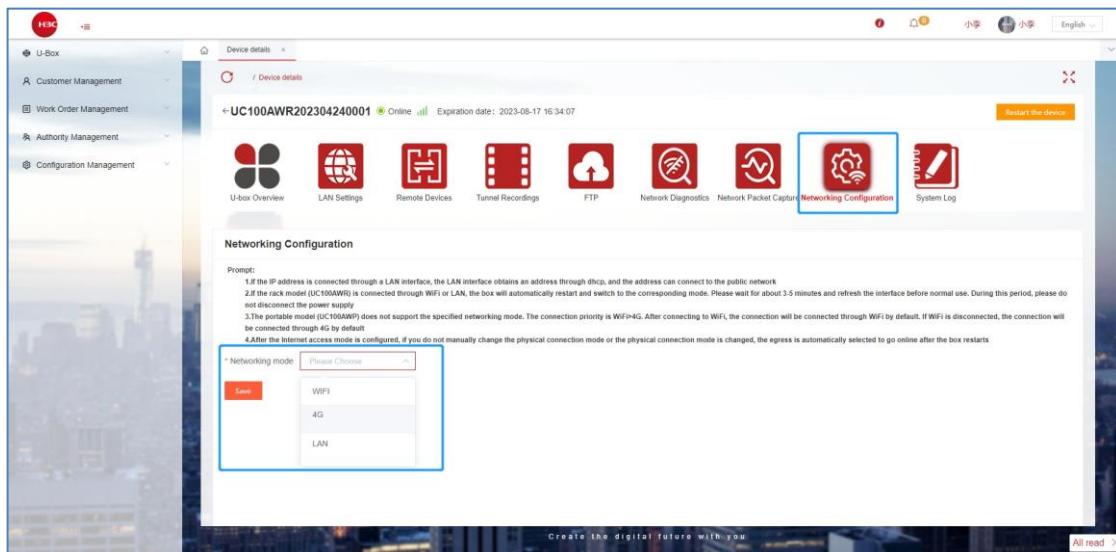
図 3-15 U-box ネットワーク データ キャプチャ インターフェイス



11. ネットワーキング 構成

図 3-16 に示すように、4G (デフォルト) や WIFI 経由など、U-box をネットワークに接続する方法を構成します。

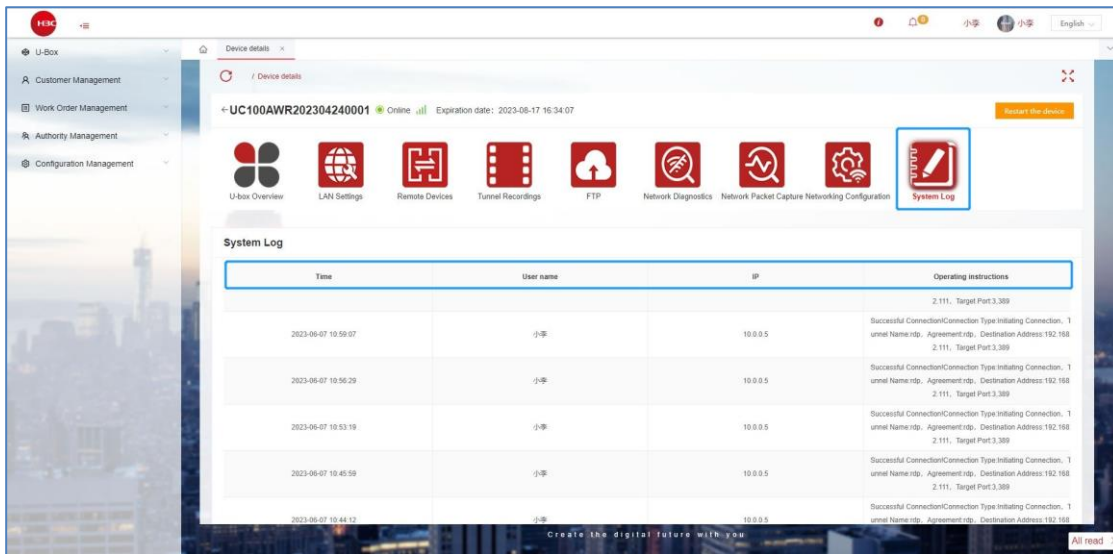
図 3-16 U-box ネットワーク構成インターフェイス



12. システムログ

図 3-17 に示すように、U-box に対するユーザーの操作 (主に時間、ユーザー、ユーザー IP、および操作情報を含む) が記録されます。

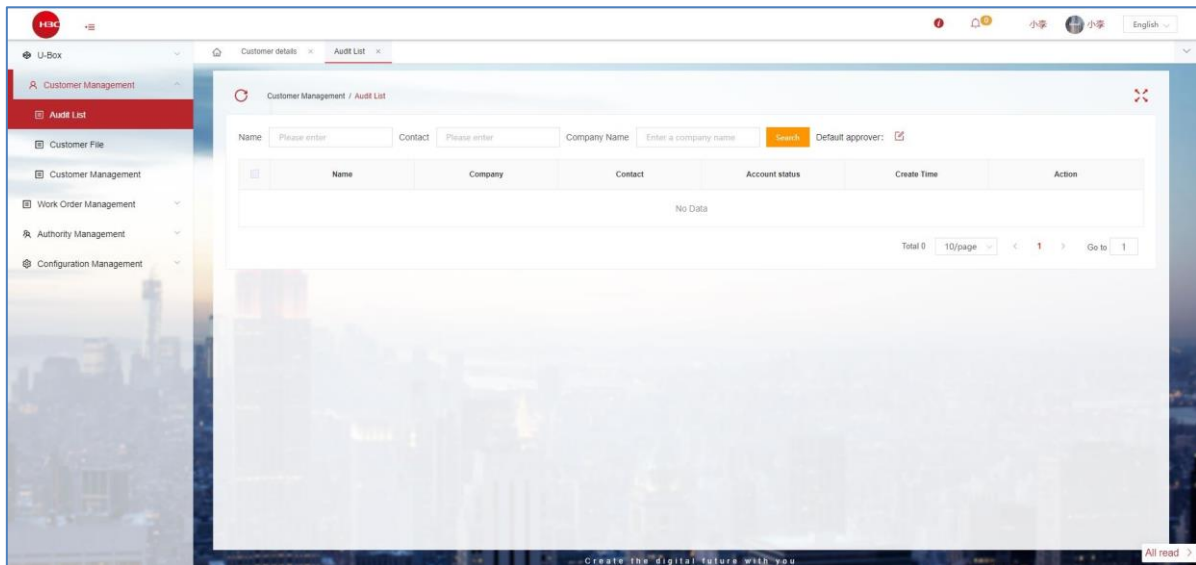
図 3-17 U-box システムログ



顧客管理

図 4-1 に示すように、顧客管理インターフェイスは、顧客情報の管理と保守、および顧客プロフィールを通じて顧客の作業指示や U-box の使用状況などを表示することを目的としています。

図 4-1 顧客管理 インターフェイス




承認 リスト

承認リスト インターフェイスは、主に会社名でのアカウント登録申請を管理することを目的としています。このページに入るには、[Customer Management] タブをクリックし、左側のナビゲーションメニューの [Customer Management/Approval list] を選択します。

承認リストのパラメータには次のものがあります：

- 名前: 申請者の名前。

- 会社名: 申請者が所属する会社(企業)名です。
- 連絡先の詳細: 申請者の電話番号。
- アカウトのステータス: 現在の申請処理の進行状況(審査中、承認または拒否)
- 作成時刻: アプリケーションが送信された時刻
- 利用可能なアクション: 管理者はアカウント登録申請を承認または拒否できます。
- デフォルトの承認者の変更: 右上隅のアイコンをクリックし、ポップアップ入力ボックスから承認者を選択して承認者を変更します。



- 表示されるエントリが多すぎる場合は、検索ボックスを使用してエントリをフィルタリングできます。

顧客プロフィール

顧客プロフィール インターフェイスは、主に顧客の作業指示や U-box の使用状況などを表示することを目的としています。顧客プロフィール ページに入るには、図に示すように、Customer Management タブをクリックし、左側のナビゲーションメニューで [Customer Management/Customer profile] を選択します。図 4-2 に示します。

図 4-2 顧客プロフィール Interface_01

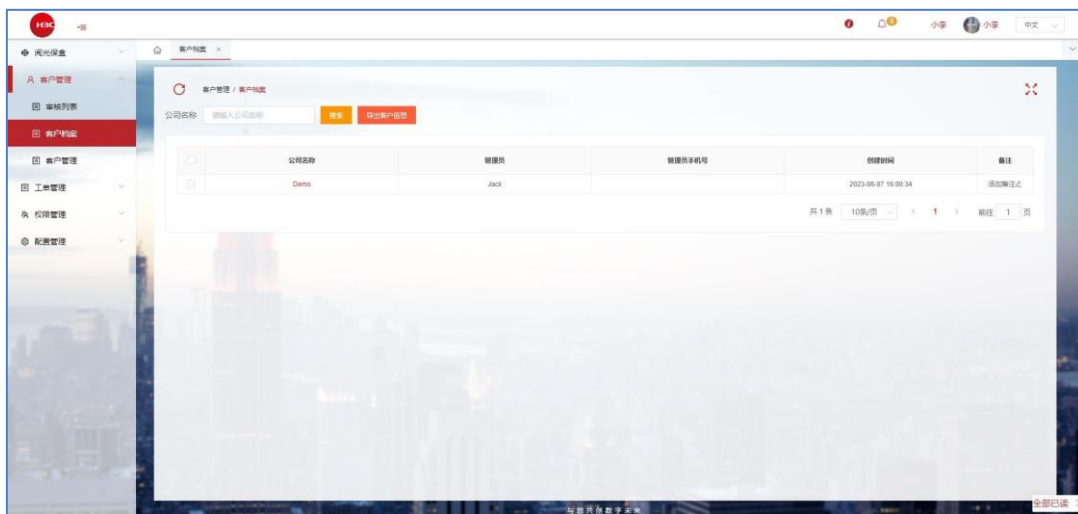
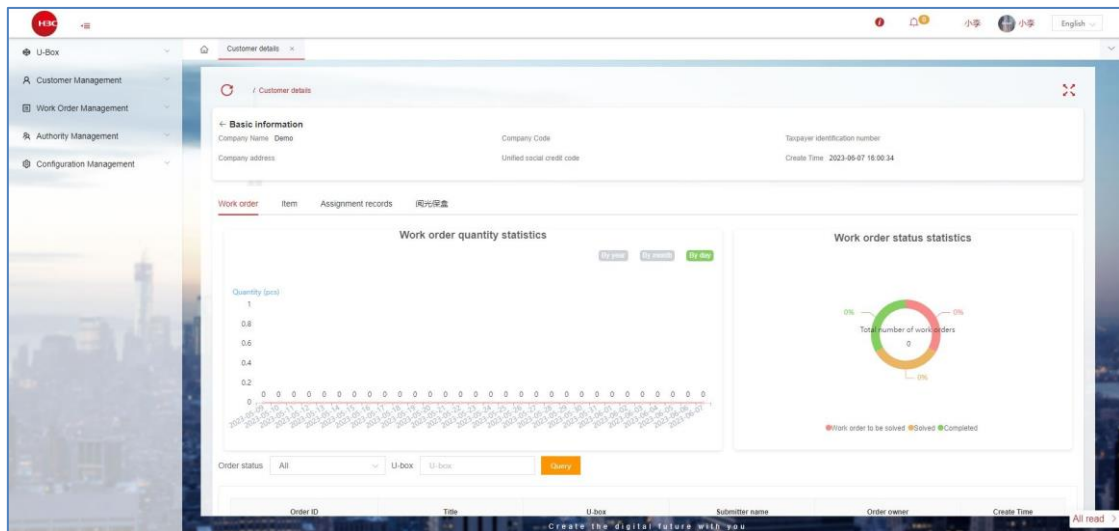


図 4-3 顧客プロフィール interface_02



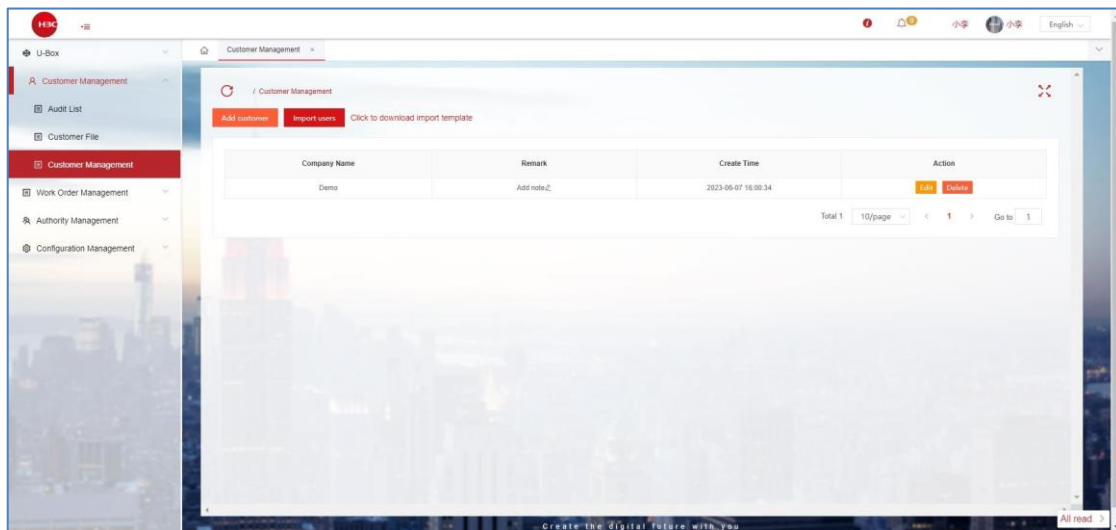
顧客プロフィールのパラメータには次のものが含まれます。

- 会社名: お客様の会社名/企業名
- 管理者: 顧客管理責任者の氏名
- 管理者電話番号: 管理者の携帯電話番号
- 作成時刻: プロファイルが作成された時刻
- 備考: 追加情報
- 顧客情報のエクスポート: クリックすると、現在のインターフェイスに表示されている顧客情報が Excel テーブルにエクスポートされます。

顧客管理

顧客管理は主に、顧客アカウントの追加、編集、削除などのアクションによって顧客アカウント情報を維持することです。顧客管理ページに入るには、図 4-4 に示すように、Customer Management タブをクリックし、左側のナビゲーションメニューで [Customer Management/Customer management] を選択します。

図 4-4 顧客管理 インターフェイス



顧客管理パラメータには次のものが含まれます。

- 顧客の追加: クリックして新しい顧客アカウントを追加します
- ユーザーのインポート: クリックすると、新しい顧客アカウントを一括で追加できます。
- 会社名: 顧客が勤務する会社/事業所の名前
- 注: 追加情報
- 作成時刻: 顧客が追加された時刻
- 利用可能なアクション: 顧客アカウント情報の変更、パスワードのリセットなど。



Note

- パスワードのリセットとは、デフォルトのパスワード ydl@1234 に変更することを意味します。

顧客アカウントの追加

Upower 顧客アカウントを追加する手順:

- (1) Systemタブをクリックし、左側のナビゲーションメニューから[Customer Management/Customer management]を選択し、顧客管理ページに入ります。
- (2) < Add customer > をクリックして、対応するインターフェイスを表示します。
- (3) お客様の基本情報を入力します。
 - 会社名: お客様がシステムにログインするために使用する会社名
 - 注: クライアントの会社に関する追加情報 (オプション)
 - 名前: 顧客の姓名。
 - 携帯電話番号: ユーザーの 11 桁の携帯電話番号。
 - 注: 顧客に関する追加情報 (オプション)
 - さらにユーザーを追加するには、<+> をクリックします。
 - 最後に追加したユーザーを削除するには、<-> をクリックします。
- (4) OKをクリックして操作を完了します。

作業指示管理

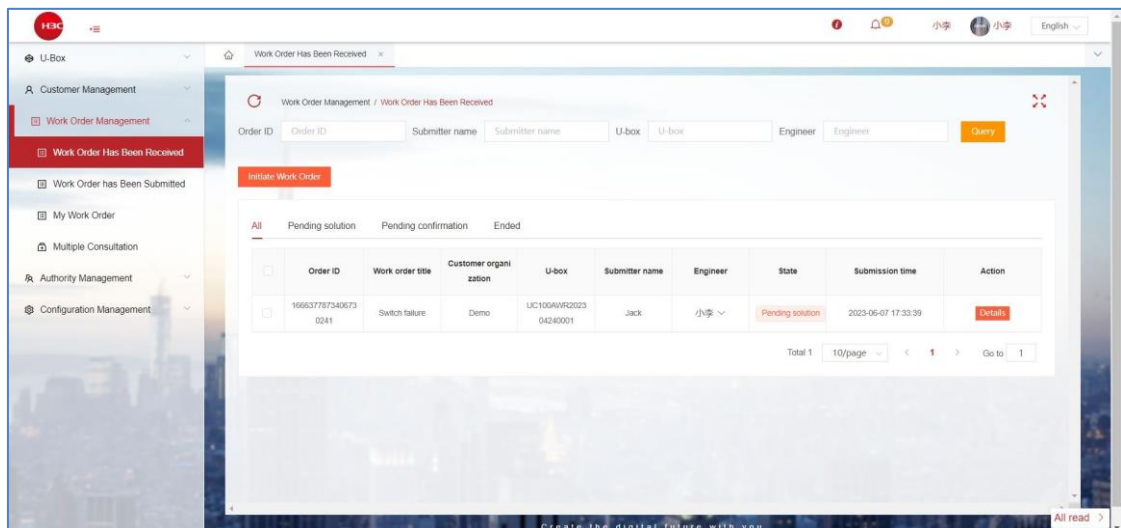
このモジュールは、ユーザーが関連する作業指示書を管理できるようにするために提供されており（管理者はすべての作業指示書を表示できます）、そのサブメニューには次のものが含まれます: 受信した作業指示書、提出された作業指示書、自分の作業指示書、複数人による相談。

受信順:

このインターフェイスには、受信したすべての作業指示書とその関連情報（注文 ID、注文タイトル、顧客組織、U-box SN、提出者名、エンジニア、ステータス、提出時刻など）が表示されます。

図 5-1 に示すように、左側のメニューに移動し、[作業指示管理/受信した作業指示] を選択してリストを表示します。:

図 5-1 受信した作業指示インターフェイス



作業指示リストのパラメータには次のものがあります:

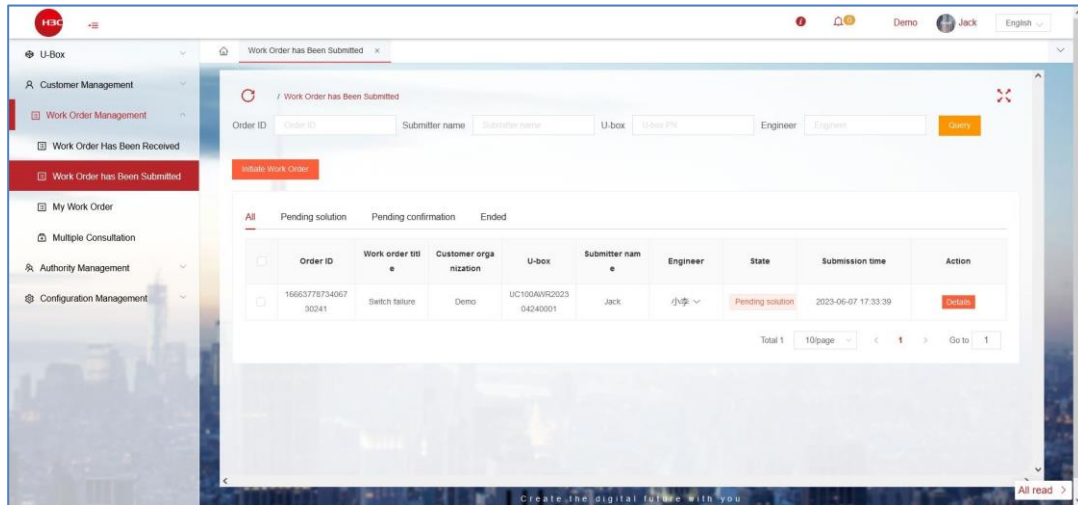
- オーダー ID: 作業オーダーを識別するランダムに生成された番号。
- オーダータイトル: 現在の作業オーダーのタイトル。
- 顧客組織: 作業指示書を送信した顧客組織。
- U-box: 作業指示書に関連付けられた U-box の SN コード。
- 提出者名: 作業指示書を提出した顧客の名前。
- エンジニア: 作業指示を受けたエンジニア。
- ステータス: 現在の作業指示のステータス（保留中、確認中、終了済みを含む）。
- 送信時刻: 作業指示書が送信された時刻。
- 操作: 「作業指示の詳細」をクリックして作業指示の詳細を表示します。

送信済み作業指示

インターフェイスには、現在のアカウントによって開始された作業指示書とその基本情報が表示されます。作業指示を開始するためにも使用できます。このインターフェイスにアクセスするには、図 5-

2 に示すように、左側のメニューに移動して [作業指示管理/提出された作業指示] を選択します。

図 5-2 送信された作業指示ページ

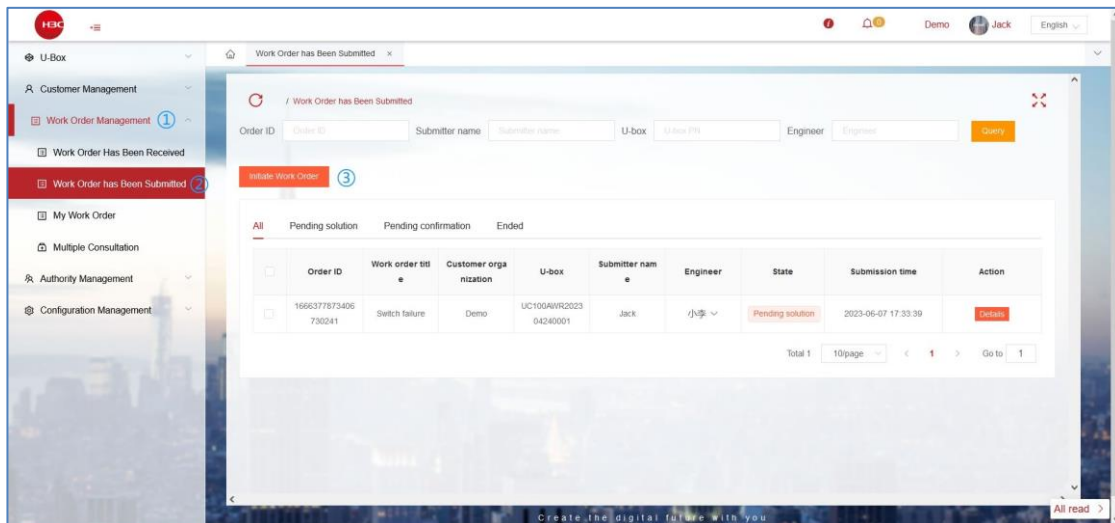


作業指示の開始

作業指示を自分で送信し、送信された注文インターフェイスを通じてその処理の進行状況を確認できます。そのためには:

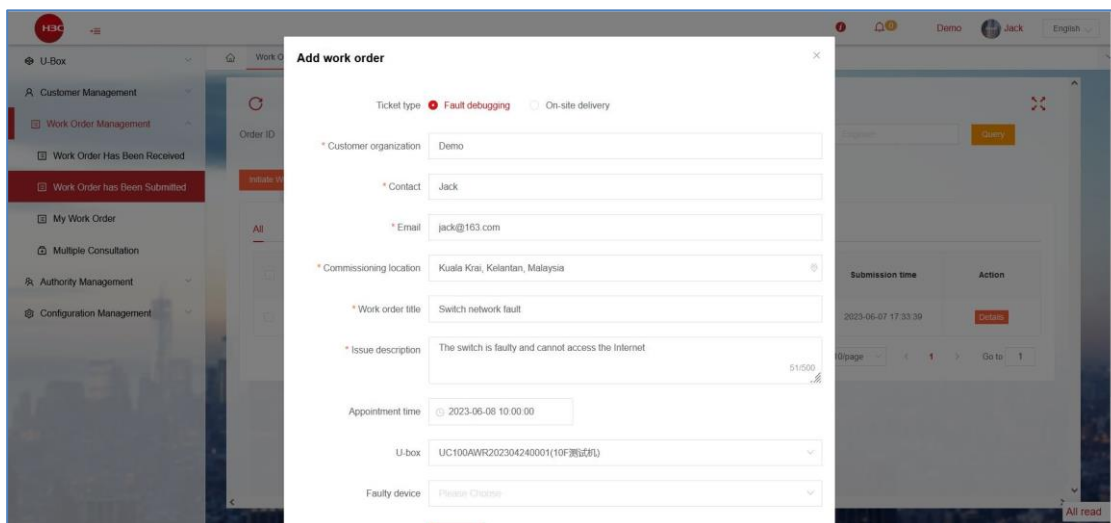
(1) 図 5-3 に示すように、左側のメニューに移動し、[作業指示管理/提出された作業指示/作業指示の開始] を選択します。

図 5-3 作業指示の開始



(2) 完了した情報と予約時間を指定して注文を送信すると、図 5-4 に示すように、システムは問題を解決するエンジニアを自動的に割り当てます。

図 5-4 作業指示の追加



Note

- U-box サービスの種類には、Upower プラットフォーム サービスと独自のリモート O&M サービスが含まれます。
- Upower プラットフォーム サービス: H3C パートナーによって提供されます (パートナーのパッケージ サービスを含む)。
- オリジナルのリモート O&M サービス: H3C の代理店専門家が 24 時間 365 日のサービス サポートを提供します。

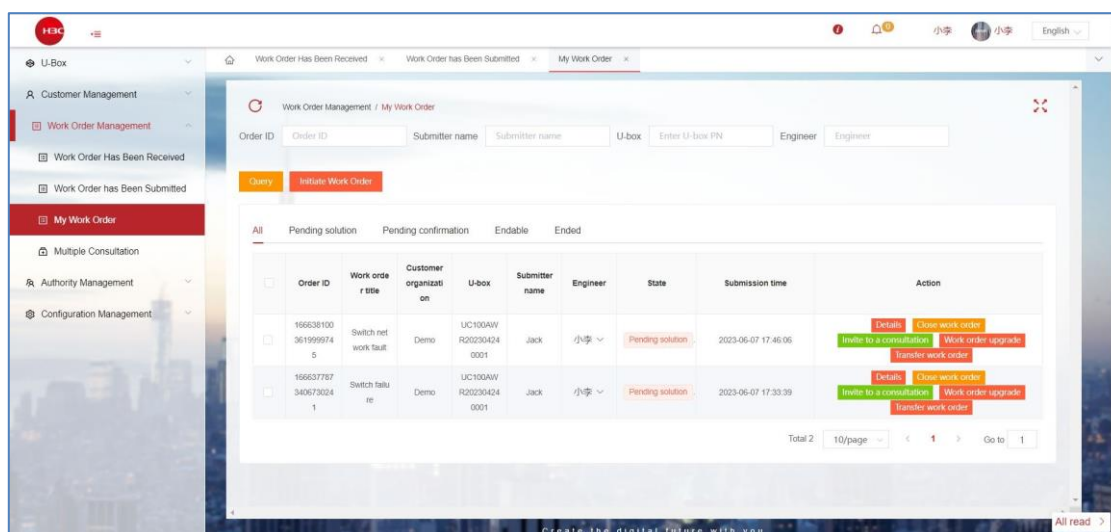
私の作業指示

現在のアカウントに関連付けられているすべての作業指示 (送信済み、受信済み、解決済み、および未解決の作業指示を含む) がリストされます。

(1) 作業指示リストを表示するには:

図 5-5 に示すように、左側のメニューに移動し、[作業指示/自分の作業指示] を選択します。

図 5-5 作業指示ページ

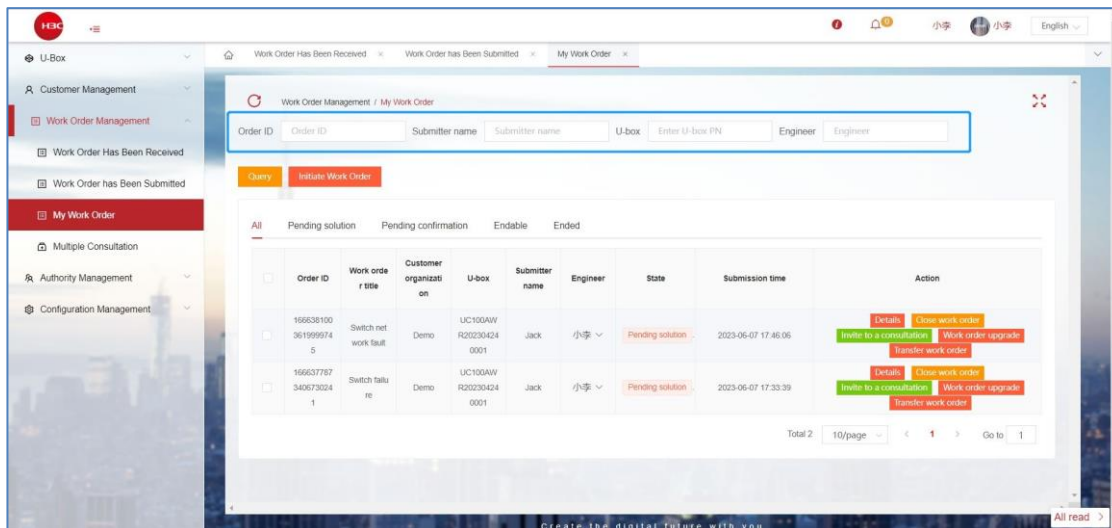


(2) 検索ボックスを使用して、さまざまな種類の作業指示書を検索することもできます。その方法: 左側

のメニューに移動し、[作業指示書/自分の作業指示書] を選択します。

図 5-6 に示すように、任意の項目（作業指示書 ID、提出者名、U-box SN コード、エンジニア名）を選択して入力し、「検索」をクリックします。

図 5-6 作業指示検索インターフェイス



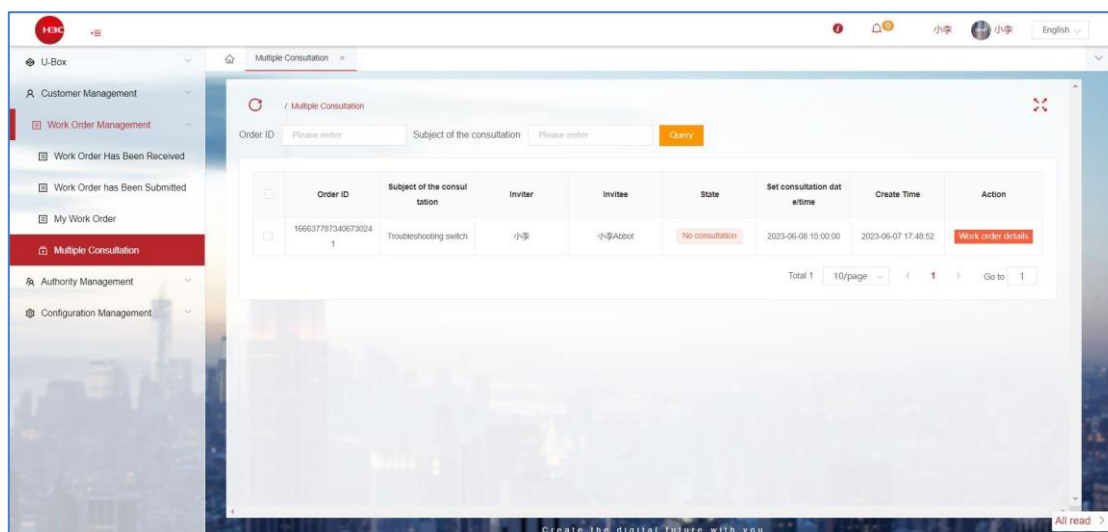
複数人コンサルテーション

作業指示の問題が複雑すぎて（複数の製品が関係しているなど）、1人のエンジニアでは解決するのが難しい場合は、複数人による相談機能を使用して、他のエンジニア/専門家を招待して、ソリューションを共同開発することができます。

複数人によるコンサルテーションのリストを表示するには:

図 5-7 に示すように、左側のメニューに移動し、[Work Order Management/Multi-person consultation] を選択します。

図 5-7 複数人コンサルテーションインターフェイス



許可管理

ユーザー リスト

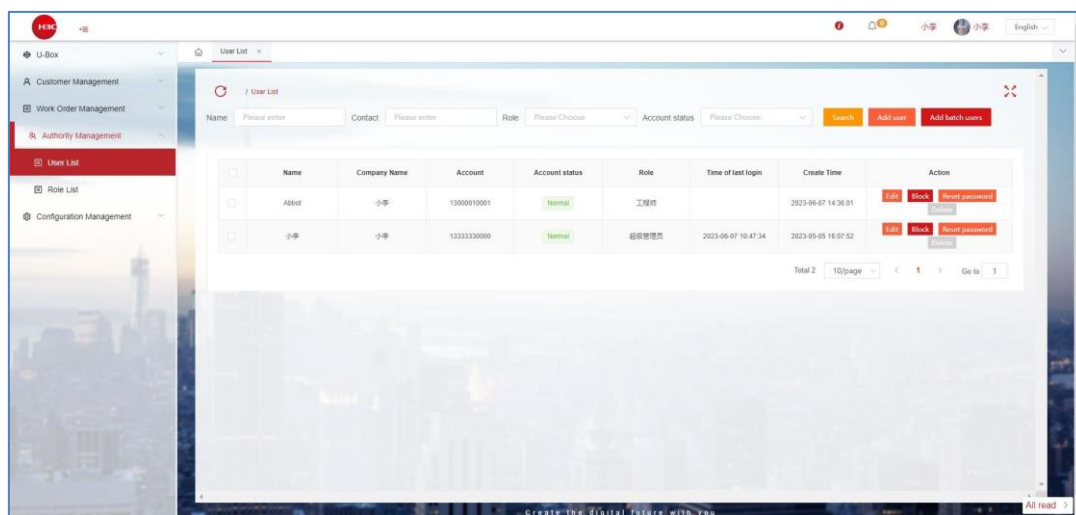
Upower サービス ベンダー プラットフォームは、ロールベースのユーザー権限制御を採用しています。権限は、特定の種類のリソースを操作し、対応するデータにアクセスするためのユーザーの権限を指し、ロールは特定の権限の集合です。組織にロールを割り当ててから、その組織にユーザーを割り当てることにより、システムはユーザーのリソースの使用およびリソース データの取得の能力を効果的に制御できます。Upower プラットフォームは、柔軟なユーザー作成を可能にするだけでなく、さまざまな種類のユーザーへのさまざまな権限の割り当てを容易にするさまざまなロール タイプも提供し、リモート O&M ネットワーク管理のセキュリティを確保します。

このセクションでは、ユーザーを追加する方法について説明します。

ユーザー リスト

図 8-1 に示すように、ユーザー リストには、選択したサービス プロバイダーのすべてのユーザーのアカウントとその他の情報が表示され、追加、検索、削除などの管理操作が可能です。

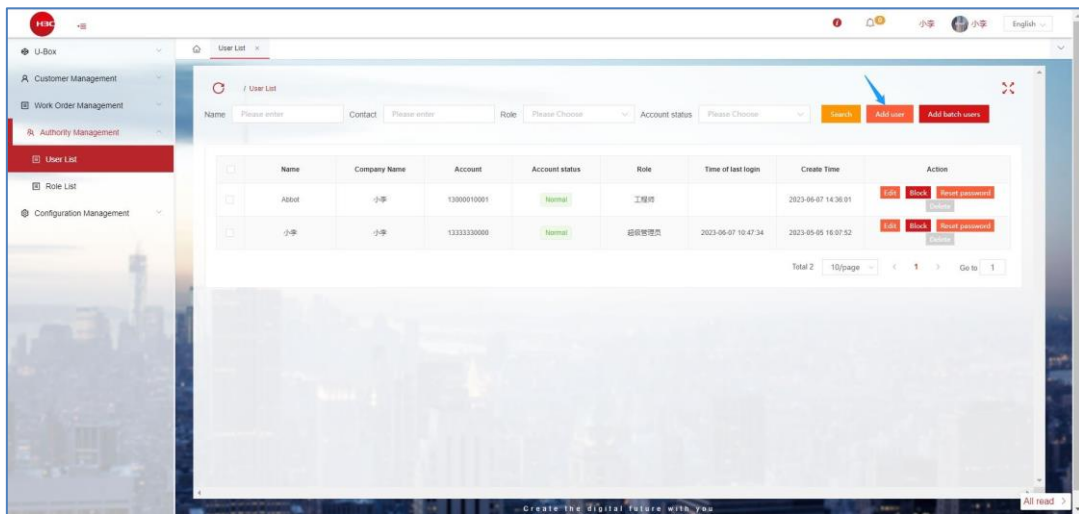
図 8-1 ユーザー リストページ



ユーザーを追加するには:

- (1) 左メニューから[Permission Management/User list]をクリックします。
- (2) 図 8-2 に示すように、< Add user > ボタンをクリックします。

図 8-2 ユーザー追加ページ



(3) 図 8-3 に示すように、ユーザーの基本情報を入力し、ロールの権限を割り当てます。

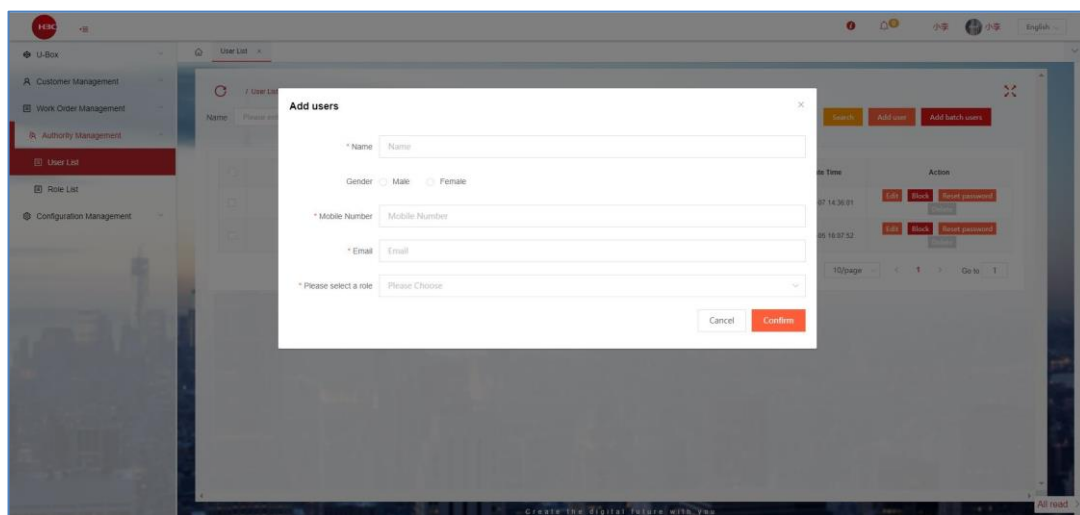
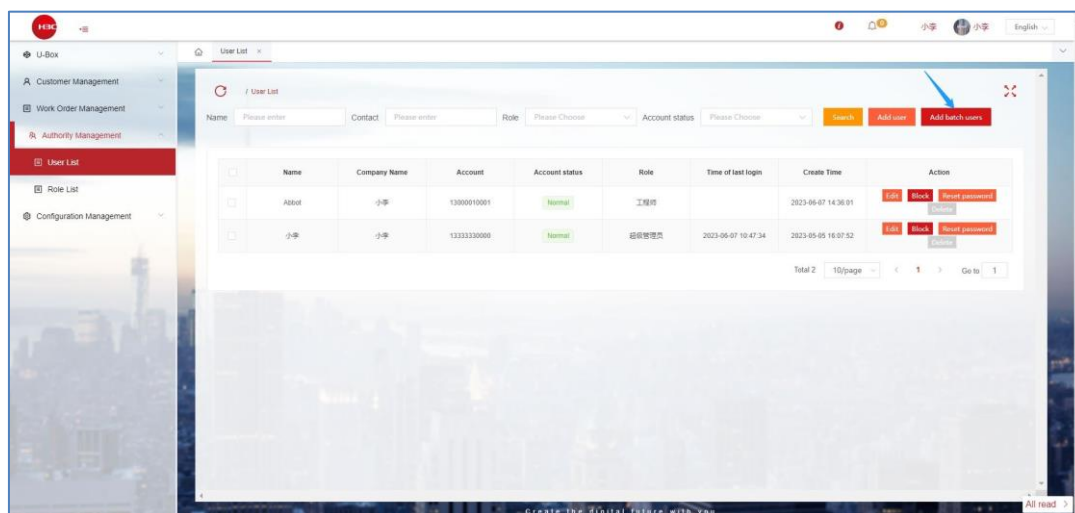


図 8-3 ユーザーの追加

(4) 複数のユーザーを追加する必要がある場合は、図 8-4 に示すように、〈バッチ ユーザーの追加〉をクリックしてバッチ追加機能を使用できます。

図 8-4 ユーザーのバッチ追加



(5) 標準ユーザー リストをインポートして、リストされているすべてのユーザーを追加します。データ検証が成功したら、図 8-5 に示すように、これらのユーザーにロールを一括で割り当てることができます

o

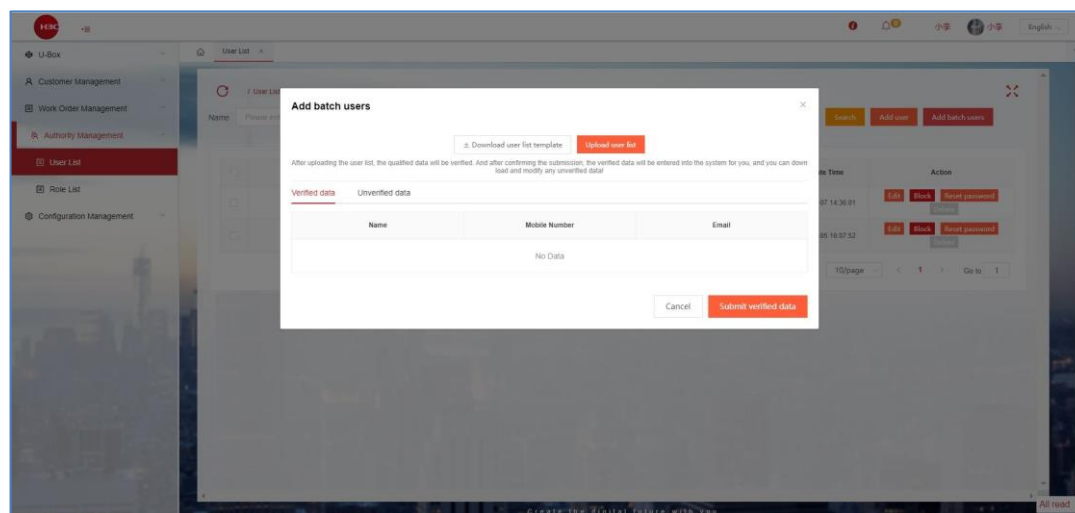


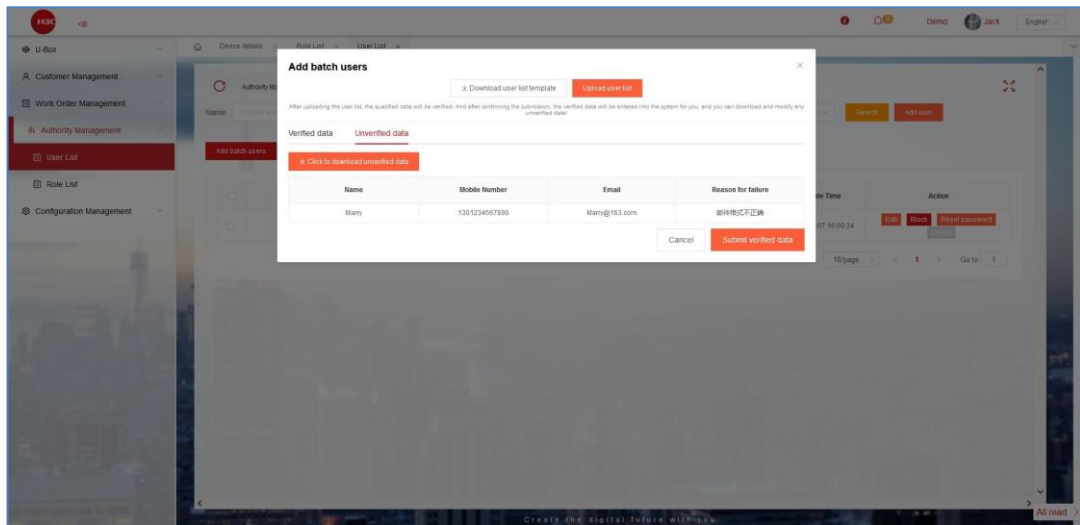
図 8-5 ユーザーに役割を割り当てる

 Note

- 一括追加されたユーザーには 1 種類のロールのみを割り当てることができます。いずれかのアカウントに別のロールを割り当てる必要がある場合は、別のアカウントを作成するか、関連する権限を調整してください。
- Upower アカウントの名前は作成に使用した携帯電話番号で、初期パスワードは「ydl@1234」です (Upower サービス ベンダー プラットフォームに初めてログインするために使用されます)。

検証が失敗した場合は、図 8-6 に示すように、対応する項目の下に理由が表示され、関連データをダウンロードして変更してユーザーを再度追加できます。

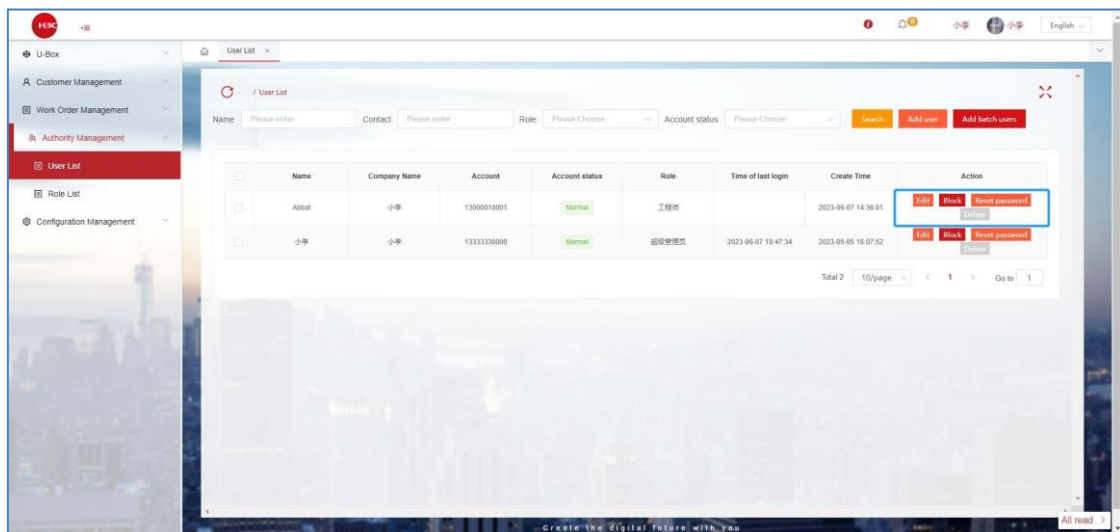
図 8-6 ユーザー データの再アップロード



(6) ユーザー管理動作は図 8-7 のようになります。

- Role settings: 現在のユーザーの役割を変更します。
- Block: 現在のユーザーのアクセスを制限します。
- Unblock: 現在のユーザーのアクセス制限を解除します。
- Reset password: ユーザーのパスワードを ydl@1234 にリセットします。
- Delete: ユーザーを削除します。

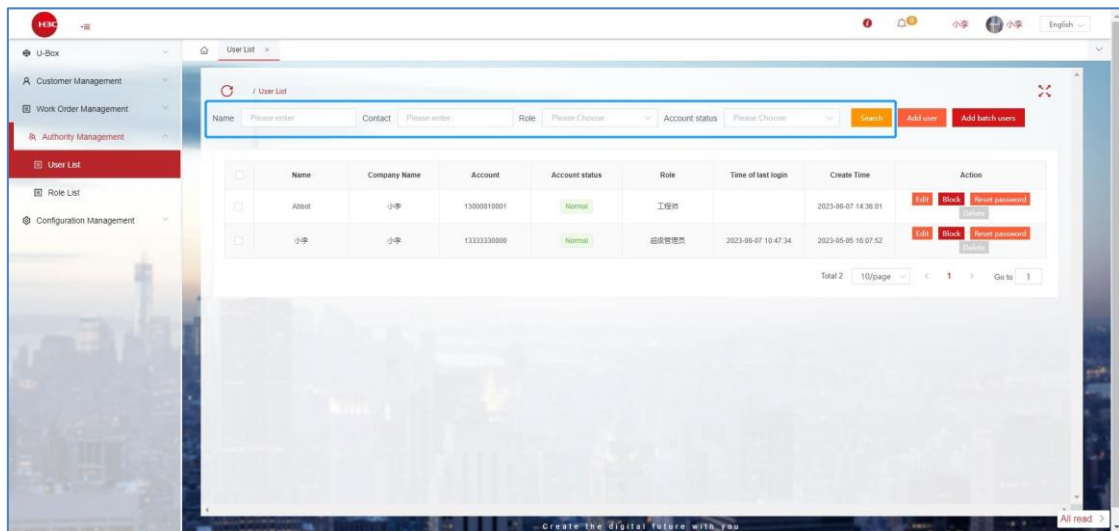
図 8-7 ユーザーの削除インターフェイス



(7) 図 8-8 に示すように、検索ボックスを使用してユーザーを検索できます。

- Name: 検索するユーザーの名前 (あいまいクエリをサポート)
- Contact: 検索したいユーザーの電話番号
- Role: 検索したいユーザーの役割
- Account status: Account status、およびNot approved。

図 8-8 ユーザー検索インターフェイス

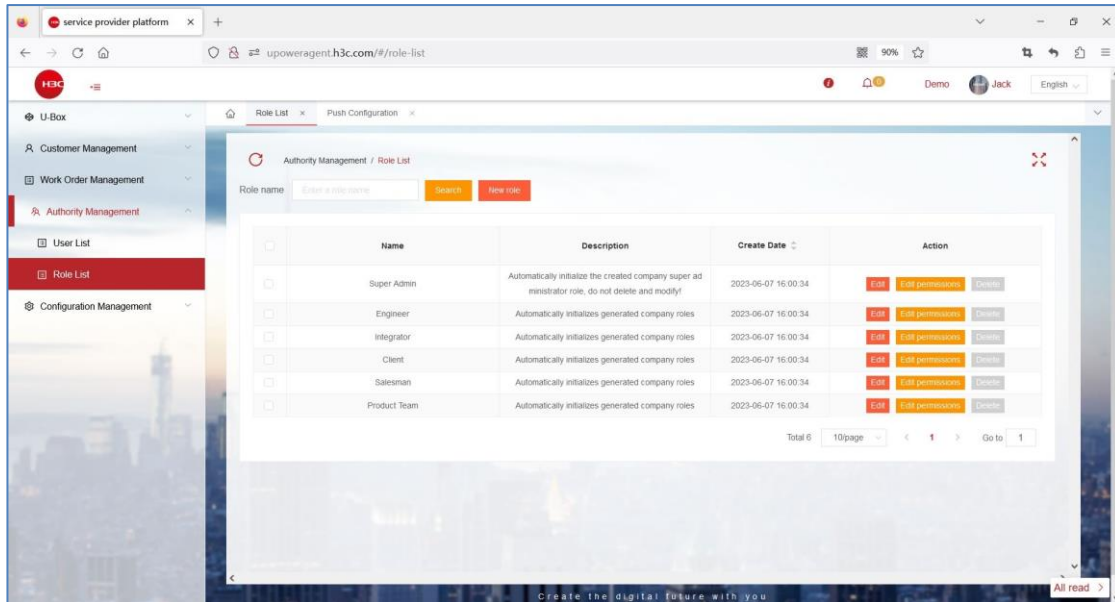


役割リスト

これは、プラットフォームによって使用するユーザーに割り当てられる役割の概要です。このインターフェイスでは、ニーズに応じてロールとロールに付与される権限をカスタマイズできます。

(1) 図 8-9 に示すように、左側のメニューに移動し、「Permission Management > Role List」をクリックします。

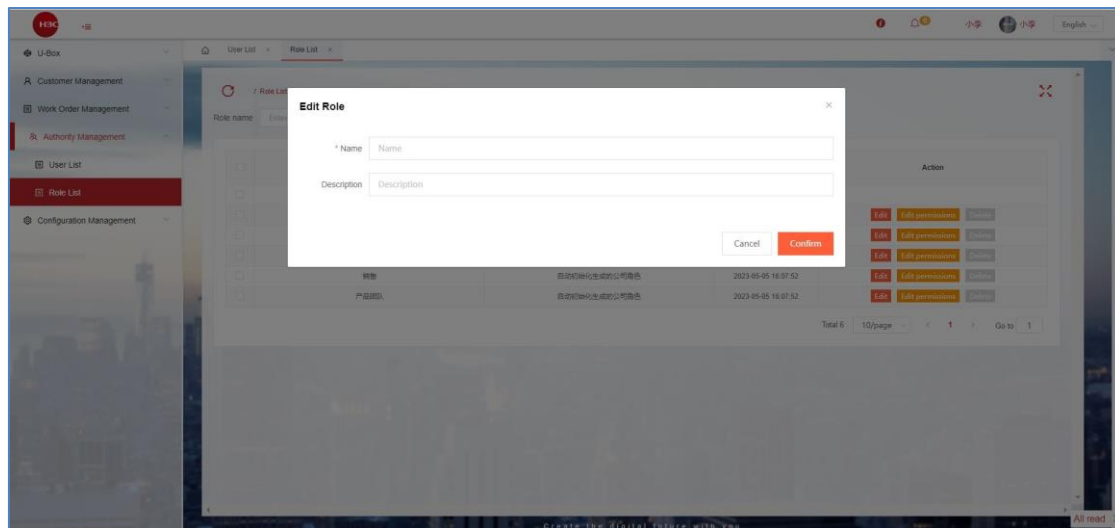
図 8-9 役割 一覧ページ



(2) ロール作成インターフェイスは図 8-10 のようになります。

- Name: ユーザー定義の名前
- Description: ユーザーが追加する簡潔な説明

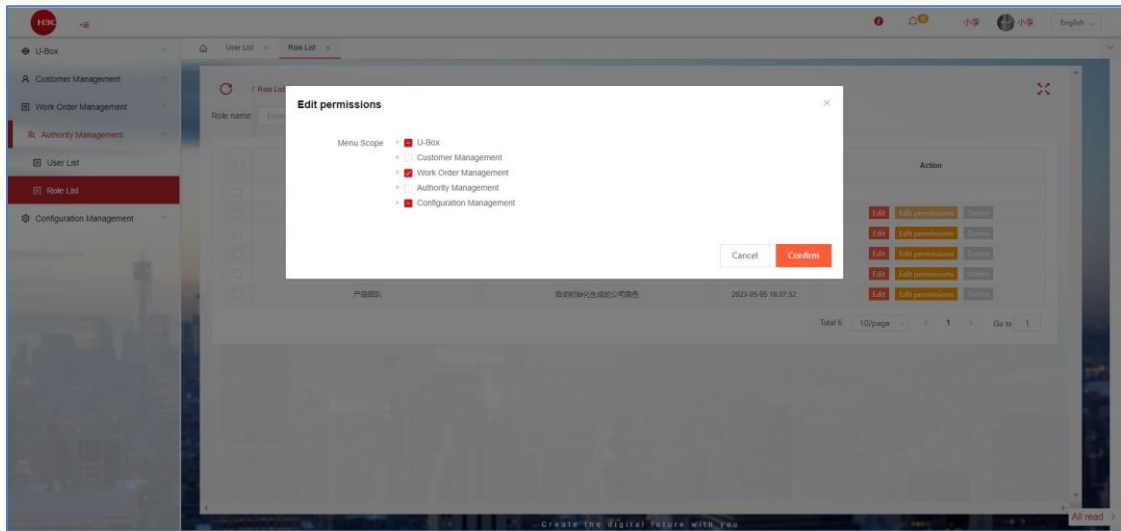
図 8-10 役割作成インターフェイス



(3) ロール権限の構成を図 8-11 に示します。

- [Permission Management/Role List]をクリックし、<Set permissions>をクリックします。
- にチェックを入れて、ロールに付与する必要がある権限を選択します
- OKをクリックして終了します

図 8-11 役割許可設定インターフェイス



初期デフォルトパスワードの変更

システム利用時のセキュリティを確保するため、初回ログイン時には初期パスワードを変更する必要があります。そのためには:

- (1) 右上隅のユーザーの-avatarををクリックし、ドロップダウンメニューから [Change Password] を選択して、対応するページに入ります。
- (2) [Password verification]または[Captcha verification]を選択します。
- (3) 選択した検証方法に応じて、次のいずれかを実行します。
 - a. [Password verification]テキストボックスに現在のユーザーの古いパスワードと新しいパスワードを入力します。
 - b. 現在の電話番号に送信された認証コードと新しいパスワードを[Code verification]テキストボックスに入力します。
- (4) OKをクリックして操作を完了します。

構成管理

これは主に、注文問題の処理とそれに対応する通知のためのエンジニアの作業スケジュールを構成するために使用されます。構成可能な項目には、ディスパッチ スケジュール、作業指示タイムアウト、メッセージ プッシュ、通知ルールが含まれます。

配送スケジュール

エンジニアが注文リクエストを受信して処理できるディスパッチ ルールを確立します。2 つの構成モード (指定された割り当てとシフト割り当て) がサポートされています。

指定された割り当て

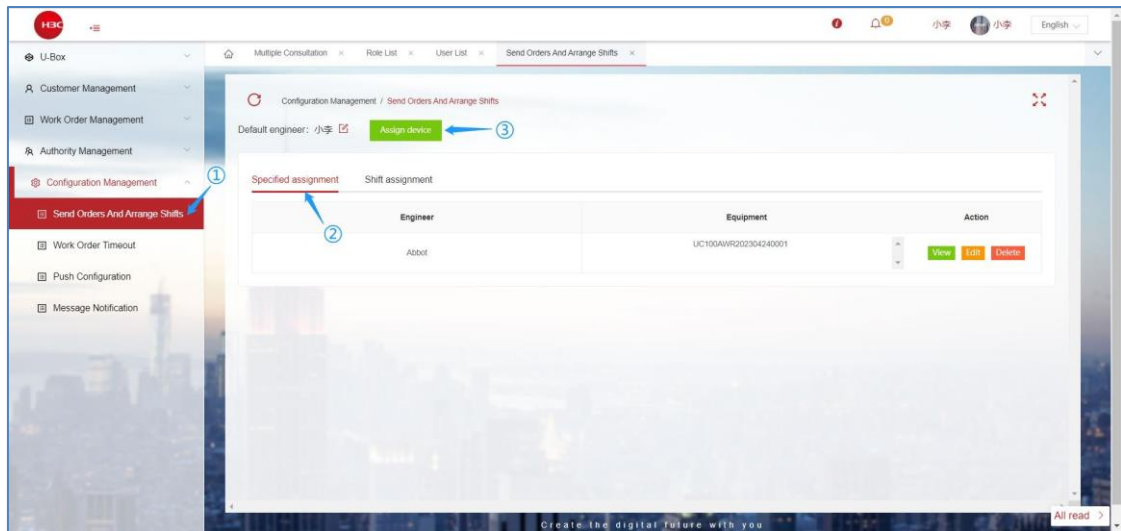
U-box デバイスを管理するエンジニアを割り当て、そのデバイスを通じて送信された注文がそのエンジ

ニアのアカウントに直接転送されるようにします。

そのためには:

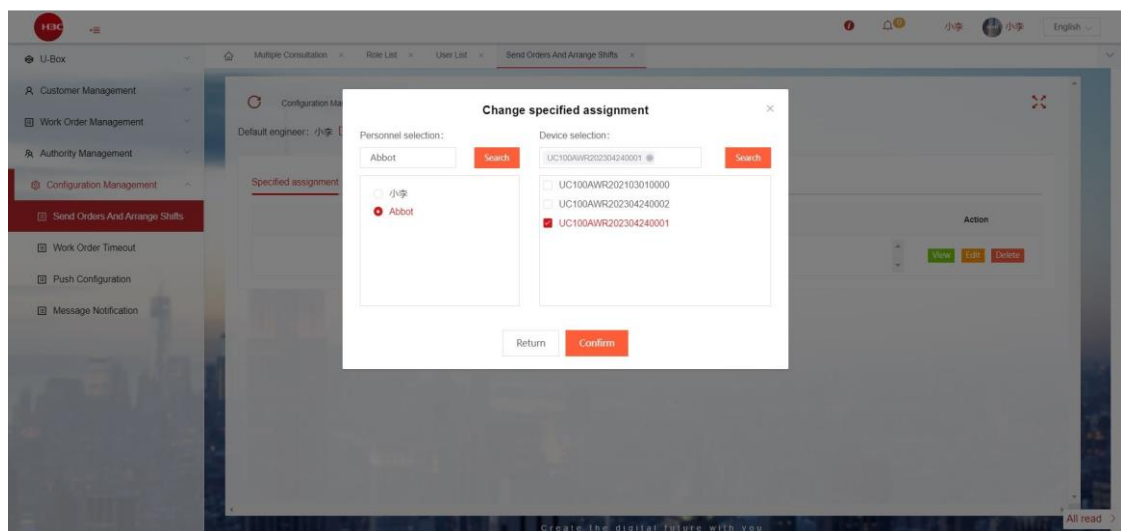
- (1) 左側のメニューに移動し、[構成管理]をクリックします。
- (2) 図 9-1 に示すように、[派遣スケジュール/指定割り当て/デバイスの割り当て]をクリックします。

図 9-1 指定された割り当て ページ



- (3) 図 9-2 に示すように、要員と機器を選択し、[OK] をクリックします。

図 9-2 指定された割り当てを変更する



シフト割り当て

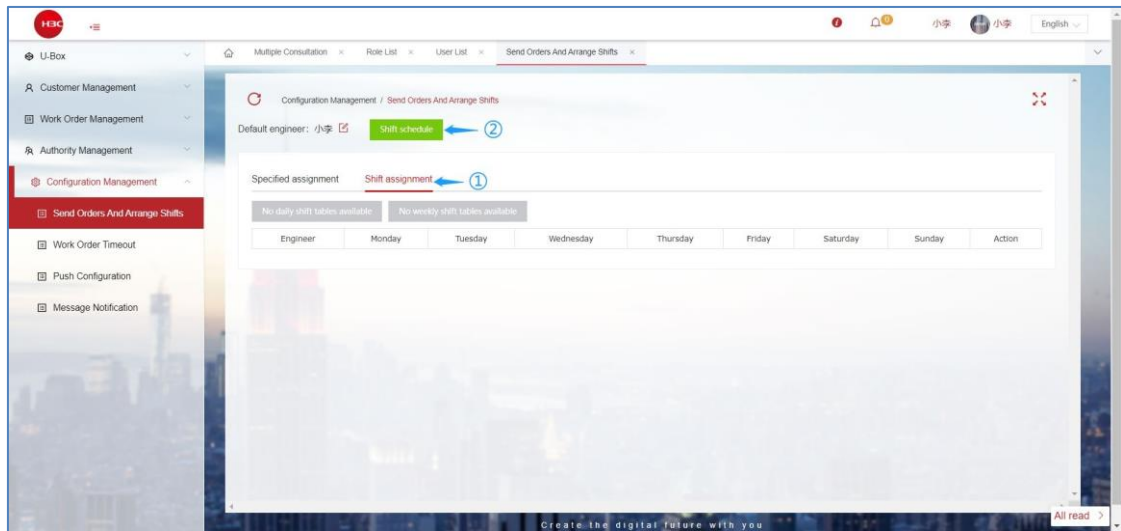
どのエンジニアが曜日ごとに作業指示書を受信して処理するかを指定する週次シフト スケジュールを構成します。

そのためには:

- (1) 左側のメニューに移動し、[Config Management/Dispatch Schedule]をクリックします。

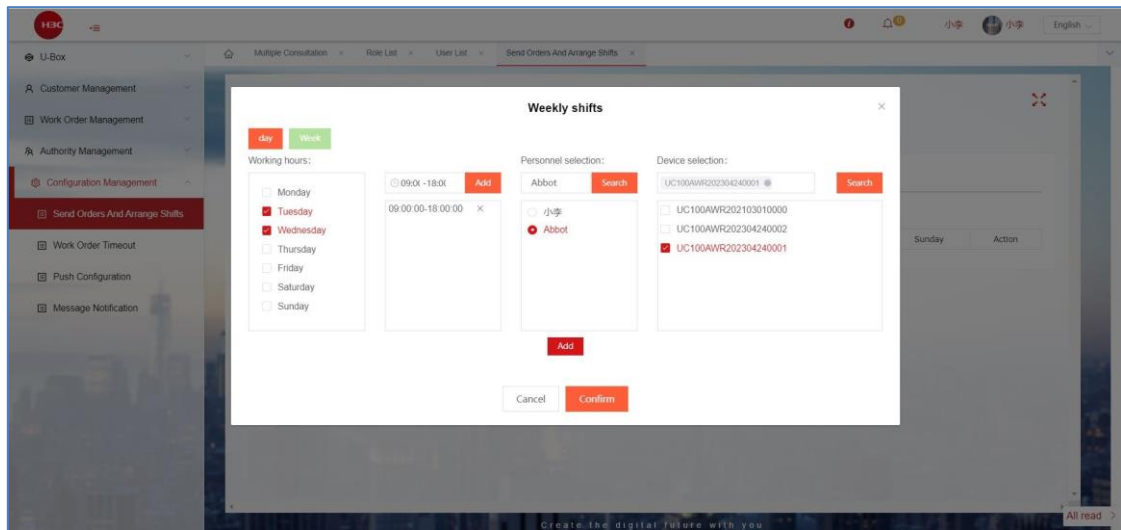
(2) 図 9-3 に示すように、[Shift Assignment/Shift Schedule] をクリックします。

図 9-3 シフト割り当てインターフェイス



(3) 図 9-4 に示すように、期間、人員、および機器を選択し、[OK] をクリックします。

図 9-4 シフト割り当て選択インターフェイス



作業指示タイムアウト

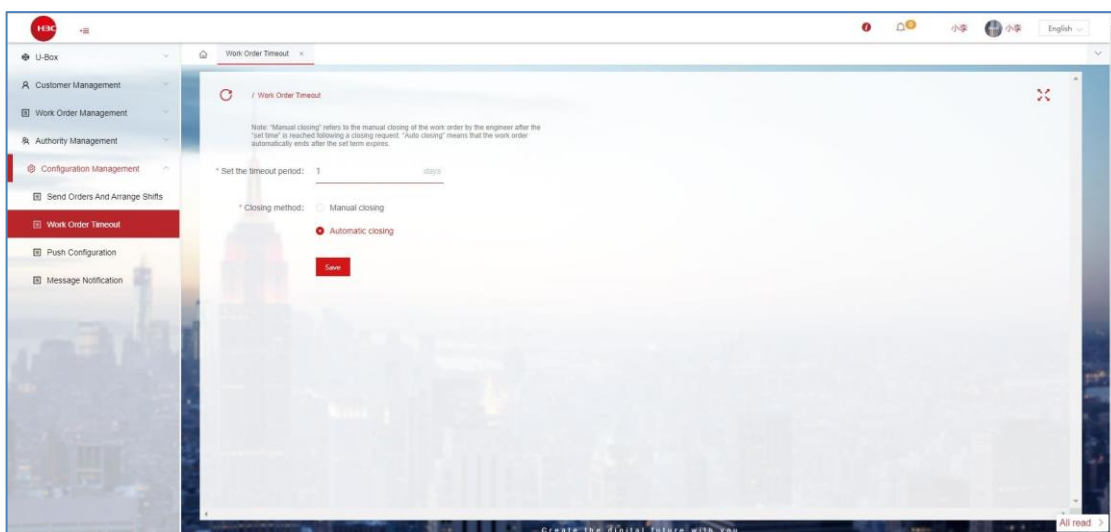
注文が長期間アクティブであることによって発生する注文ステータス エラーを回避するために、一定期間後に手動または自動で注文を終了するようにタイムアウト設定を構成できます。

作業指示タイムアウトの設定

(1) 図 9-5 に示すように、左側のメニューに移動し、「Config Management/Order Timeout」をクリックし

ます。

図 9-5 作業指示タイムアウト設定インターフェイス



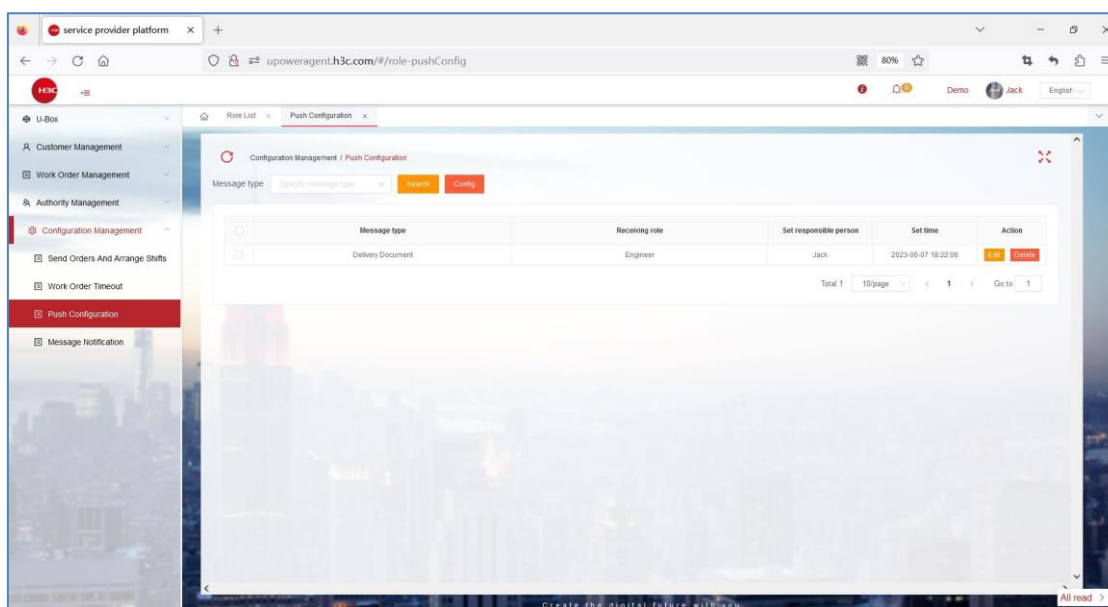
(2) タイムアウト時間と終了方法を設定し、「保存」をクリックします。

プッシュメッセージの構成

特定の種類のメッセージを指定された受信者にプッシュするポリシーを構成する

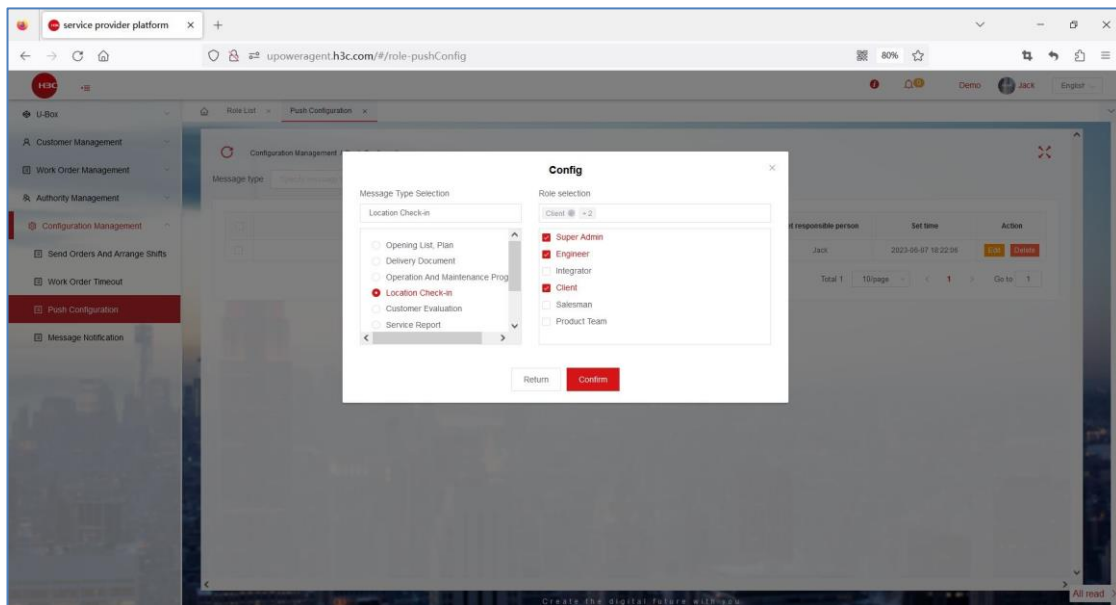
(1) 図 9-6にあるように [Config Management/Configs] をクリックする

図 9-6 プッシュメッセージ構成 ページ



(2) 図 9-7 に示すように、メッセージのタイプと役割を設定し、<ok> をクリックして構成を完了します。

図 9-7 プッシュメッセージ構成インターフェイス



通知

図 9-8 に示すように、エンジニア向けの作業指示通知（WeChat、SMS、電子メール、電話経由で送信）を構成します。

図 9-8 通知構成インターフェイス

